

S227

17
V

Wendy

25

26

24.

五
月

13.(日) 晴・雨

朝の在宅、午前二時半楚理(楚南)掛替+
トマ

午後1時半友治丈人及十世系二人向道半分、
午後2時半、七時辞去ル

夕半林大エーネ半分、内生喫室(ナミ、近
計高)、湯リテ一巡り而後立志(立志)清夏ハヤシヤウ
行ス

午后大山氏西院へ引地細君(左近)、マムタニ
書此、次に過口半、至る(計)又大人(セイジン)、
事代(シタ)、立志(立志)去ル

五 月

14. (月) 晴

午前 薩摩公文來持氣球、=電=機=八
午前 平林大工の板橋高加瀬太氏木人納室
壁書百四帖+ 平林大明心十八、大内心造二
年六、整壁工事、瓦掛八

午後 2-2 3/4 Manage

午五時立完、而別設、21) 6.10 - 9.05 →
置表、走過大門赤道+スルトス、改神尼
堂、一寸金代79+心+一時 22)

五 月

15. (火) 晴

朝大時才立完、上段、大内=汽球美高友、計7.本
古文土+木板=付本物、通+木、之所

大林夫人主計 大林大三郎医師即東、既、ノリ現由
莞道東、此經子是乃木板之全、意足向一ノリ旨十
大口神經裏筋過コハラタリカハ、私田地現在へ、在井
朱ラ思ナシ度知メ、卫達時吉西ヒテノト旨、辛
轉度可十八ヘレト達メ

午以二時行支度今、幸人久高向二丸叶今朝持
=置表今叶下段、大内三郎東山川而名、既达、
ノリ經上度、案田ニヤラ又社之通ノ過山八叶一改定、
二時散会

幸大文年命野上信夫太、限今、横尾支山本計、所
“立節十、大林大一、足量心現方面、此段足達度ナ
大心才八、島、老一才

大段放送尚、三輪章治丸東行、而一日放送流丸
、計九、「ナレーテ、二回心テハ財部御山本計」、「ノル
トナムノミクニトス」

城智夫人主計、幸口以才二審判未ア、先升
「ノニニ良上度、ニシテ病院四年上、立度ア」、明日也
計マハ、計ナリ、妻、近メア

寫中丸計、行ヘ松山入河事業概況工報

五 月

15

会議に挙入、又起事図、敗戦用一付の袋。70
朝八時より五時まで起事其他、朝中、内閣へ
同心・鷹子氏、姫川婦人予見宮城監修へ
午後七時より大内丸、佛インハイニヨリ、監修
成る、置演則、西京二十年九月盛會
夕方退社、少辰源、大内丸
監修会、山本政記の不快感、大内丸、元
二月一日、東京へ立つ八郎の御便の心地
一行誕生日祝、佐野吉正と連絡、英庭又

五 月

16 (水) 晴

朝日本美、起事十一件事

朝大寺村大内丸主計、起事中、既過、追及、
桂木山書院の丸、生方、八郎、大内丸、元
信宗、土手から、東京へ書簡送込、午後一時、
西、田舎スヘ、十時半、辞意

12.2-2 3/4 Manager

納戸、セントラル建設工事、人材、機械、
今方平林大内丸、高知大工、内閣、外
因、工事、止火、注意、ナガズマラ=宮人、近ノ才

五
八

1.7. (土) 喂

午前九時十六分止及、去所

（五）在原大、半圓大門上設計，增加織帶，由三方依持，又分側板，每側板一扇門，可開可關，門之兩側，各置土燈四盞，每盞成一弧形。

幸惠惠未回，往云来今夕，都无去来意儿饭以
奉卜未以相待，上明口同志，为是心惶惶全蜀君
与运动辛未代，表示若心见远了人外心。今夕
，送别气，才流以时之

是志氣、內薩克工章中之志氣、朱

以上，研究精準，大括號兩端氣：付書，年與人
名，書名、研究收錄，序

收四等退叶，要送山上去，大每
社二庄萨莫那克村、特拉今，清话乞
二革德得，内改「现下」，通前例改「付上」
半通二十一事，又如「何一外」，此皆舊俗之稱
計四事，三事。

선수권, 토너먼트는 예선전과 본선전으로 나누어진다.

四三

五 月

18 (金) 晴

室内整理及

午火一時太氣，下神，太火→經天拔地火～鴻人
～火～火～火，一為少火，二為少陽火，三為少火
：扶弱，意謂～～：二時少陽火

12 4-5 Massage

吉川早苗著の足穂設計書及其代
情文書、持見え

五 月

19. (土) $\frac{1}{2}$

士 午而大等寸弓矢，上改，去而

寫於史記此日本村立處玉王寺旁一住處之次年正月

（二）兩國中立的時，亦是增產了（參見前文）。

又是整才初一，送足底而归用三十四，手部更少

テラマツ由之・其、支那へ之明心加叶高野中丸之助

由薄壳吸口海綿。上半部1枚，後部2枚。

→ 漢書一言動全貌 → 言曰以司徒，以錢譯皆合

12月7日(水) 14:30-15:30 気象庁 気象セミナー

1937年9月13日 美金 11.12 = 壹拾壹元

第二回 贾府上上下下皆不乐 可憐世上寒士

這兩處 鮑喜之等 一派 誓言 總被無以

四月二十日，晴。晚游西山，以次作記。

逐塊地圖上所標的座標點，即為各點之地理座標。

五八

20 (心) 善·恶

改口左支，嘴上，鼻端数粒现一粒，双儿
大工速中，乍口忙事。双儿，而行，去心夕人少，午从
三降，以日，牛止

江东疫立起一“行盛”会，以次又卜荒变。

五 月

21(月) 晴・雨

此句在氣，整句，或帝之政也；明以置義，
則仁至焉（後一等向：又）

.12 2 1/2 - 3 1/2 massage

伍竹健送史部 三月廿五日立春

三

久戰，反之。一月還，「青島行省處」事又。二十七日

五八

22 (-大) 墓·情

午前大時過支氣·上吸·支氣

十一時二十分送マテー技术培养; Wayne, Secretary
Kish, 久文, 美一郎

从中央公海，得川史半生，达川八都八首子。

·12· 一等中研究是今，幸人久而尚二太古帝。——

本校之友社是為文化、半報、學生運動起見而成立者，
年鑑及雜誌、文、畫、圖、影、音像等取之

横尾文子著「大林鬼」にて得サリハコヲ達メ、
志賀お卯人志人、現今其ノ後ス

大村定志 夕方現放り、おおむね身元の友人十八人、
一寸前後

1961-9 社会统计一般，讲得重心在统计的
研究，即，调查设计；设计的技巧（方案）
实践研究

大工専門事務棟上り

五 月

23. (水) 情

甲戌 丙辰 丁亥 乙卯 丙寅 丙午 丙申 丙戌 丙子 丙寅

丁卯 丙寅 丙戌 丙午 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅

大 木 午 丙寅 丙寅 丙寅

丙午 丙寅 丙寅 丙寅

12.3-4 massage

丁亥 丙午 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅
丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅
丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅
丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅 丙寅

五 月

24. (木) 情

午 酉 申 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未
未 未 未 未 未 未 未 未 未 未

五 月

25(金) 晴

午前十時去宅、奥岸電線事務所へ立寄り、物置変換装置
を交換し、十一時半帰所

午後一時半、以左次へ上手本在中、叶替け

退社 七時退職

平林七工、新規物置内、仕事終了、午前九時
半、明日御用來らる用意ナシマウ様

十一時車両支拂、福岡へ良吉島にて東京
方面の電報判、之に改西東北支拂へ、以降九時半、
全の人に、十二時、先輩故仕事外カハル、竟欠
レ立、十二時退職、此が「四友」の電話、
改西東北支拂へ、一時半

久我丸の支拂、支拂、底空工場 二人共右二輪
片携士立寄、二時迄以降通報アリ

五 月

26(土) 晴

朝往古、故笠原洋輔子 故笠原

車両支拂、更立才而引、之に支拂二十六日予定

以降、電報未出付退引、大段廻以つたつて、
四二八ト、コトハ幸運ナリ

午、二四車両支拂組合、今口町にて支拂主翁、山
内、大改歎、会マウセト、旨報

既に高野、整理ス、又予城、現時

平林七工、午口支拂、即口拂、物置改送支拂、

四月廿四日、轉送車八二ト

午前十時支拂、想望アリ、之に大日本
解説書ナリ、一時向付、二時半

正木口ナリモ二四、洋裁講習会一行

五 11

27 (月) 晴

朝八時半支度。申辰史の便アリ、此後は夜の三時
まで遅延一回、高級車の車内ルーム等、この車の車内
で後席、車内二段及至速五段、高级の封印シテルル
尚八時半火災、大改頭へ及神一トシヤガ、
9.45 着、工事車、隼人、サナガラ走り、空氣十分。
午後一ノ谷電へ行ク、
夕8.15 落川駅着、山手線、走勢一、1800m
走行、東：成田山、北：生駒大寺、アパート等、
車、一部生、壁天井板、天井板等、運搬車、
途中以待ツコ時会、十時近、四ノ里、入浴、
喫茶向エド、就寝。

28 (火) 晴

午前十時、順次其の去る、申告叶、妻乃分宿候
支御ヒ、鍵サニツ作リケル、ヤウ依頼シ、妻比
青歌二ノ谷、牛病ヘヤシ、ハス、枝葉等ヘヤシ、
河上氏元、前々遇ツル故夫人、云々、接見シ、
福田先生一行リ、
夫人及遇、口呈現トヘル大一志、而今、
家中ヲ仕事、次セラモ、
二志、多立、室ニ之置シ、
依頼候元、夫又大一志、公セラセラ依頼シ、
之に裁判所向ヘ直取スル、得失九ノ三段、
大一志又承諾サル、不即是处分、更書中筋毛、金人、
十一時半妻、内急、夫又、夫人、
全土地、赤金、保有費、二十才、
施主、飼養入、
施主、大内二志、寛法シ、拂田史、達達、
上章、旨通セス、
九時半、收穫者、自転車、運、一箱完
午後五時半過、久我豆三郎夫某訪、
又以、陸送、物語、处分更書、久我老父代
表者、上心署名スル、(久我豆三郎心入)、
付書、(久我豆三郎心入)、七時半、
辞去ル。

五 月

28.

午時過江輪事社大典行、福田夫人を
立会ひ、江輪東洋の二丸へ遣文書(改而車
券、吉野、江之代)を呈上、江輪東洋御礼(大
(大一志、年賀一二十口)の決算を一司、福田虎
門(虎門、寅之助配属)付依託、又依託
改乞手、不即起賣却乞、夫人大一志、市方、共同
の心事皆会意(大一志)去不得手旨、竟書(作
成)之、江輪東洋裁判院、机者又手稿了
九葉、午後、十時、吹簫去カル

五 月

29. (大) 量、雨

午前九時過端田支・長、太内支坐
執使、午後、空田・喜久井・高見之子、在室
江之代、改計心事叶、執使、枝川・東京、
猪木、北川、布施以下、午後、(1)夏(2)秋(3)冬(4)春(5)
M.夫事件、先づ、北川、猪木の太内支
~近事到來以此と想引、十二時前、本丸
前橋山、元町支

今朝一部心事、餘長史立一司、立、午前
半午後(1)、中(2)、十二時前、(1)、(2)
半(3)、十二時過、然左支所、(3)上子仲一、東一寺
一句心事、
始生、江輪東洋(1)、(2)車以裁判院へ行(3)、
午後土佐計心事(4)行(5)人交書(6)返(7)
署(8)一遍、(9)午之、(10)午前、(11)午後、(12)
一日辰巳不二元へ行(13)立食(14),
(15)然左支所(16)、(17)夜空(18)入(19)擇(20)支
(21)午(22)事(23)日(24)事(25)、(26)置(27)大(28)、(29)用(30)
午後、(31)事(32)り(33)、(34)御車(35)御氣(36)せ(37)、(38)午
一
部(39)芝(40)電(41)車(42)又(43)御車(44)代(45)木(46)西(47)
擇(48)開(49)明(50)北(51)朝(52)史(53)元(54)計(55)、(56)段(57)子(58)左(59)
(60)木(61)表(62)、(63)若(64)御(65)火(66)火(67)、(68)一(69)段(70)子(71)左(72)
(73)木(74)表(75)、(76)若(77)御(78)火(79)火(80)

五 月

29.

7分、往復走行四時半過り、
向北、事ゆゑ、八地更にトマス、二十八支、
2分、越去ト、移外エ、7分下鉄
エカスル、徳之、勿記、既に十二時川底

五 月

30. (18) 晴

東今朝人 36.9 - 下墊ス、過鉄斗、入却津の沿いル
営高平市、復モ十八時 - 10時、食事、中、大鳴川
午起ルルアリ

朝八時、吹笠云支事計画、サトモ一郎ト、此女山
駅、次巡回止ム、笠云東山古王町取7分、車主
領入行、

10.00 崇、サル、過鉄斗、10.40 大坂飯野、没神
谷堂、入、後八九点、次に、陸方、而、雨元、
入浴、叶沐

平林支事二十日、10分、玉串山、集

正田昌平、二十、二十七才、小豆、特生、モル
坂ト、

五月二十四日、台中杭川走、加藤幸造志北吉、類アリ。
支人追、洞蔵

五 17

31. (女) 啓

午前休憩、宝尾、以上改。午後一時半支所
幸島支所、以古丸トテ相談、上今過期
・重ハ外人械械、借りてアリニシ会ツ、乞、ナ貸ヌヤ
・ハナタケノ

河上丈人印光來訪，舉凡東土玄、今達、南華等行持如
牛頭四時道場內研玄參，第一回三字，齊
薩黃史，觀無爲天地以一車印演覺祖庭，次之
前人先生、壁石、入、四時道場散會，
對卜鬼印主師，仁聖心印明午月半計以得之
心、待午子亥一月過事。」

「凡て時事進行、改種野田辰宣の外属に頼
洋母ケーブル、高畠太一、明久精美ニテ
支拂ハリ旨、今月合計内訳 + 三四夜の如
シハナヒテ、合計ハリ = 口計ノ助ケルノ事
五吧、費用ニ充てシ一切、先トスニテス、又二月ヨリ
五吧・電燈・水道キ、翌月ニ吉方更換トシ而等干奇
トシ三四支拂スルハ易シ

六 三

1. (全) 善

午前十時正午付、下神、又、三基社の太鼓運動
主立體會事務所にて強烈な空襲(飛行機全般)の如く、
大々、入力空襲警報、
因爲、原田君、午後一時半、午後二時半、草十、久留、以
一時、伊豆

• K 2-3 message

新嘉坡 3 月 2 日

本題之事件已進入

2. (土) 罩 - 雨

報十等去尾，上段，去所

寫申處事之報告，此去又一此行公報告申達矣，
 諸備營支事中行正方府廳事申報，以期得正
 又二十一、三

將在支事行局金錢此行事，以是事之後凡
 至福地空、執事；
 車之物，電地工事：未少後工
 正車口午以的人，
 △午以二時半退計，故從銀行：申行支事行；
 因此，又上策空、能以半退事物銀；
 表，造光書；
 △車中事，沒而申空之私，事此，
 一派之程度，先天下，完其事，以詳考；
 諸事
 諸事

3. (土) 罩 - 雨

報在氣，執事處

午以二時半退計，故從銀行：申行支事行；
 表，造光書；
 未少後工，
 諸事

六

日

4. (月) 晴

二、政治研究会、市内、整理上端文「社会事文」(1回)
支方詩、佐々木草子

12.2-3 marche

夕在田畠平處來往、市内見。気付リテハ改明日母
迎へ事ハ否と想ひ

夕高島大工事、下珠九十九地支持引請了

六

日

5. (火) 晴

朝八時、吹叶上サンモル、母の自動車にて車内
夫婦モ一ヤル、正午12時(?)

午時左尾、猪田の自動車にて行ツ、
此朝未所、猪田東上而後、既述(月4日) 実行=付
十号アリテリ半島にて船装水、港至ヤハル
夏期講習会・計画寸却後又

午後一時退行及食会、森广、久留西、猪田、大林
、四友吉等。

猪田教長、以、既述及ノ程度、栗田=清夏八人
計付支拂、是、議又、又執法施行付空達、
遂ナニ決定、

六時散会、因定又

久留西支拂、即、明、12日 M夫人、半付、乞

六月

6. (水) 晴

朝霞在天，道是春晓。又至梅园山
12'2 - 3'2 maney

六月

7. (木) 晴

午前左吉、執筆

宜食以上及、去所、11月+執筆道=82%
森戸東一没

向史の就任式の実行、辞、草稿、手写、
後退、支々、返す

施田東一夏期講習会（連年やむ一ル）～“共
同～一圓此方置く事支付皆元工、之は夫
事仲、叔母二史、相談、设计、佈置、車八二十
日、行、叶ひ等、之は既に草稿今、是れ付ケルが、
講習会書希望者申込以て、以て書以講師、有
署、次ノ如ク相談ス

以施田東一相談、方便考観、尚早吸講習会
“年過、以テ隣文通、此ノ以、第二回、叔母
夫人、素約、内ツテ決乞スルコトス

社会政策連合、農村、東京にて、巡回の方以
施田、出来工

夕方五時半退院

夕七時半、受験以人來訪、退院整理中
会見、桂選手選出、夫人、次第大約着用、
巡回以叶高、希望、夕、十時半章去ル

六月

8. (金) 晴

此日亦寒，乞け。而中接好长，迟方方太。此事
午前至四更起、至八，午前一小时不左，母上健
在+1

约 23/4 - 3 1/4 message

某处ケーブル未收アリ、又首、全地アキタナカ、限
制+1 = 七ヘル元アリ

嘉治史、十日上京、局通知アリ

六月

9. (土) 晴

午前大晴半云空、上夜，是、大朝社：午前吃二斤丸，计
7 丰如意社丸；十一时去町

以薄束のうき事如ビール、夏期温習会：(1) 午前
ニレスはアクリルアリ。太极外传，山本虎一、足利先二
内装アクリル走ルル事ムセキトナリ；(2)右=万声内装
ニ運アカラル紙丸アリ

舊津東ト引致掲示板、作成、経営相談、
牧史、指掌アリ

、以二等退叶；大朝社=再^レ4年虎之行，今
迄今一七復次，秋上境=21日月+1，云寺明瓦

六月

10.(日) 晴

朝云等起床。荷物(支度)大，万事面守，手扶
支纲(類)，八時半自動車、正午支。二賓駕、
行)

9.10 晴，量食・少食食空=7+2

9.8.15 高川署，まつた一印、送太夫妻去庭，自動車
7+2時半代東山下へト一着，室革、及庭太夫妻
辞去

六月

11.(日) 晴

アモト、銀座十番地、哲理・収事

12時、吹奏樂隊一丸太行；社會収集奉公史，
編纂：竹林会又、川口山音元次郎太、大内・上野
二丸、都合、同会也川口二十ニ四々、吹：金合外汽
社2113、山岸・中島(松原)=丸、現今有利潤又、之等
吹奏樂會一丸

ソーリー丸、正向体、丝衣曳氣、酒、ナラ、
以舞者、^{ナラ}此土の小寶物の如く、乙未の夕食、
八時四毛

絲衣曳氣、舞心大久保歌詞、午前11時又待合室中
馬鹿行義史、乞乞

12. (火) 晴

午何十一時，既无光夫妻未几，鶴子集 \rightarrow ナハト
何一時今余欲走，豪治夫妻之一時乞叩口止，
午何二時過既无夫妻打連一七走，走比毒駕乘
車、途中の合計；
金、失作生人手計，支坂在二一寸而今，
且月上立，算失作生人書整理一平付，一ノウス
血時譯吉，Anki 写記
五時半辛土是一定八，生一部及深今、利帶，
壇伏走、左、拔重、向北、應隨夕過、避解弓
木山，初次第、高圓悠故史一枝内之，
今食、以譯心，八時半四乞
入既山川休

13. (水) 晴

朝南野牛丸引方，既往等字：レ譯吉加
久、始、年梅子四復，拔門火行，限大是走了
午以二時 \rightarrow トキ・正立、古行，是ノ行局，
花、ノ行、十郎母史元一至八，夫人、外古、中行而今，
得心，十郎母史打遍張半等而計，レ譯心，車、正ノ
分被；
神田富山防 \rightarrow 美即アヘ 跳八ノルノノ堂流
記、冥々，
三時辛土今坡：至八，十生会室、社今役果辛气
夫隔差一回九会之、後半子，山号立次印、中島
信虎、十郎母喜平次、上野道神太内立古、
豪治迄一、若史之帶，今食、以叩口止，十裏
四時、ノ印ナヒ、名方初、近院殿、久、折、ノ
高秋十九会合ナリ、大伴打氣ナシ、九時退
散今；岸田太、医病、以欠節；
玄向：今八半計、乙輪毒狂夫、階下清正
室、レ面今，上一丸事件、既過了；
更：今八生会室、拔田(朱計、待合ヌハルヒ) =
東ノ月刊研究斗朝法、付叩口止，草田、計
美：印帝) 著上ナドサル達筆引丸、計盡)

六 三

13

更生會之十八由後起，文和大正八年十九至
一九四〇年七月于東京之淺草之新力，二十日，
由トモエ・エイ子電之佐野，大久保サウ大内忠信
氏；十時過之神保町向，地久松：即事場
城之小角万葉抄批之是日二月二十二日，十五日
午，仙台の兩章以至士合鏡：雪田高流，
加全生又人之詩之音律；十二時 Auto
PAP-1 ~ 200.

大内太一、近江一寸、兵事事件、警視監告白
元

六月

14 (木) 晴

朝八時半 パートナーハー、車・正好・支・自動車=7
支・料金、花園万次郎一至・仙台土産、董子ヲ
置ホトキ、ソシテ東・Auto=7 上野駅、至ル
9.25 元、午前八時半付近ノ事、
午後 4.28 仙台着、直後 自動車=7 花園 宇野
支・行、前以テ行土、通知>深川オオバハ故
上ウサゲ又年々足立山野部元支・警、宇野
署・大至=行ナリ、其即追一・行、年々
追>直後 代之主事行元室・宇野處ヲ呈又、
日本一のアーチ橋

女中は、車の運転免許を取得するため、自動車の運転技術を学ぶ。運転免許試験は、運転技術と知識の確認が目的で、運転技術は、運転技術を学ぶための練習場所である。

數々泥り、而今(ヨリテ一義印ト)：遠ニ印、
丈夫ナハヌ足、近所乞フ事十二時吹外鼓

15. (乞) 情

朝太時退寧節束上以道古文，先丁達々（宋生
武夫級優（避石火，世祖二十八詩文，故改））
即四代一節處：玄冥以接物心，清文季節研豪室
一行り。

寧靜史記、東北大臣一覽、兒女、詩文等亦甚
清秀，近以子孫。

次、竟陵，長子曰東陽，皇內以衍爲皇，世
能，兄、更、而惠敏（事文二、法之、而惠敏）
子曰惠代之，皇內以延一兄、卫慧止未，及
吸方十八岁）。

本量過半。故意に表せば、この長さの歴史と、車部上
に埋め込まれた、長い川木と並んで、アラベ刺が通じ
ます。

「」の如きが行方不明となつた。宇野、久松の手、諸君は宜食うまい。

午以一等中全归，即 Auto-7 在左端走，故，向
东及夫人。而今，从这件事件时起，遇了事，即
午，以午日其凶，过一月后，是足了事，即，故
：此事之十日。

之行卦等而互時遇寧節尤應一爻之，
幾」互「口亦互「亨」，爻：「利口」也。

15

全、双、都、近、会、春、冲、亨、寅、加、不、至、革、生、互、
田、农、云、田、鼎、明、亨、野、云、农、立、革、加、虞、明、
下、火、花、噬、九、等、革、散、会、亨、野、农、上、
归、离、革、十一、等、十一、等、比、归、休

六 15

16(土)量、向

義即欲、今一叶空，方是止於風東空。
就空空，以東之引，而足之如心方亮了；

美印、辛校、行半，字跡大半已一達=印
憶+ Auto=7 大等半邊花壇，乞勿
仙台廄一至八

7.25 3号，途中地圖

午後2.30 上野駅、また一宮道二・仙台の
実業の個人会社より一通の手紙を頂いた事で、
また一月・仙台の、写真集著者と、土地物、後
は名古屋へ向うへ。

六 11

16

箇數式即右，其嘅大心是大林右，以人+人+
一子偶+」

今後、去る大内松田二君の事、仲間は「人一件事」
の風氣。

八時二度ト分類、第一種ト二種：柳田東洋館、
孰達、草薙二種。本支道改号ト定ルハ、二度
ト相接、上至急走シテヘタレ速ヘリ、次ニム件
遅延ト共クエトキ下ニヤラキコト。又博多銀行ト
シヘトキハ福等、總合、ヨリカドマハヘキコト、ニ、柳田
東洋館又佐々木、要マハヘキコト速ヘリ、十時半
碑文、代良山アリト一ノ内、柳田史教筆中川
ヘキコトニム件改号、要アリト速メタハ故
辛士会館、会館一時ニ同處、草薙、ホナガアリ心
チ

不左中。若野松太郎君未行下山一走

六 月

17. (日) 晴

喫口福田夫人一 実現の朝八時前以降半分八時半
 中心丸、事務の平朝六時退室分十八、二輪車、後者
 、個人私事整理上、荷書類ラ未叶、七時過境有り
 九時、喫 飯云大支那、室内アーロ中飯ニ即刻
 未消化、半時向計、ハ車去ル 正

十一時退室、並云支那ニヨリヤー、一郎ト玄、弓毛、
 Auto→東京駅、至り社司の宣食レ、一回一割、正味
 11.0.45 番 乙等特急=半時、

9.54 ~~午後~~ 大改易、

9.55 大改易

10.26 住吉站

支ナ Auto→丹波、西守中平林為志ア表頭ヨリ
 留守ニシテ河、モリ外ナリ

六 月

18. (日) 晴

可成ソ波ヘ、此の休日、迄終西迄ト放計高
 ノケ、諸ソ一尚ロ

午は正向付、至る處をサマ、母工ニ之空レ太刀
 直射ヨリハキラニ、隼人

六月

19. (火) 晴

朝在鶴寺正太郎丸木方、大庭方徳今飯内、大根
代産行塙塙工事へ付送アリ、大作革認心向工事
整、二十トメ升上底ニ右ト相傳、上法定スベシ
ト主ヘオリ

口虎碑古以去之、上段、十一時過古所、
森久志一内有虎座石碑見合、一件叶事加送又
栗田ト、支序顕主、送又、
鳥神處アリ大坂市川道跡整裏更地気運移付
送アリ、案一右一記ニ便立ト付賀、ヤウニ西計、
廿トス

午以一時過研五是会、幸人、大林、久留向
之虎古等、

高野アリ上豆、報告理、望四書化レ、支序又、
瑞里、ナキ一東北太年法文手記存、ナキ
報告又、諸很多、謹復乞、謹復布告物
ナキ、大内志アリ栗田書化レ、未竟書、幸戸志
ナキ、正等故会

以幸虎アリ總事セシル夏期備器房、十五日
ナ事、

明日、備義、フクル、草稿、整一以幸志、上人
ニ呈、七時退計、夕尾、以幸元
今朝、松原橋下、小舟甚アリ、持テ荷フル計、

六月

20. (水) 雨

置義早付

ム2-3 range

ム四皆本去之、上段、支所、

以6'2-8'2 社会统计一般、備置、大之、以年
起始、ム1既八、同時、第一回備置、ム2既、
直4、革運会=物入、吉澤十日九計、白山既、
寒想及希望、達一、十時近ノ故会、
退計、車多ノ辰事、十一時半過四度、被、
可成ル、成度、吸又、正回、既マクル、高、喜
ハニ

正幸コラ既ナル、此小町、中野(サナエ屋)
一回既、既メル)

署四本之印既、ナセ既去、報アリ、七足、八足、シテ
元始、既塔、既塔、人引、人今ナセ、吊状、
是ニシ

21. (土) 晴

朝入寺道上坂、先づ大段下ル = 大坂筋、
柳沢保東坂(?)筋、不左、不利ラ横レキ、ソロリと西
駒車山(?)即高木町、井上戸 = 高木庄平、相撲
、駒黒、大坂筋桂井町、増築ラ草隠し空、寺内ノ主要
付会、七復シ風呂堂ノ外、及^{増築費用}サニ農
夏忙(?)六・七月合計二四円、送金、猪口江人

江口、太、寺ノ寺川、江口 = 大坂筋

午後一時半 事務令司会、森人、萬津、以有、内蔵、
笠、皆丸太等、諸報告、以工等故会、井上
の門前高木町 天王寺烛浪セナハ夏期講習会
、御物取付

寺島丸木町、弓削飯脣令坂、弓削寺村、正
攻年及先づ

没主寺道延許、大段公会堂(?)迄^柳
支、而今、人間改謫漢令沙可成リ盛會、宣教
柳沢丸、接待、弓削ノト子牛、公会堂、寺内ノ外食
、猪口江口元々、

第一志 = 研究計、既而轉告文益若葉拉
付便立方観覧(?)乞(?)電

22. (日) 晴

既、在先、軽湯ラ巡院又海中核打失³事ノ
.12 3½ - 4½ massage

小大、皮膚病(?)カツカ又出走ハマウツ、一山口東
リーハーフチニテ 大分快クル

六月

23. (土) 晴

朝早四時上岸來完，母上、改約款及室人、平林
細志、病友、东风、ナリ持先セレム
前大時半過去完、上段、十一時去所。

舊中志上、社会設計士の講習会、午後二時、
元成ヲ切替、支度ス

十一時半リ一時向是江、牧志ヲ持導ニ、ル
ルル有鉛海、附録及後以、歸復、御意味
テ庄心シト、要穴大、又至志上主事社、叶ハズ後、
午後兩中手贈、易高就法數、整理=善手、
四時過行日記

但川邊半程折れ、退山

午後又平林ア一、在地ニタクハ先リ少大一
段、而ヒ半心、之ニ合司音スルナリ

六月

24. (日) 曇・雨

朝十時 正午伴七玄、上段、支度及定百空法
レ、平林は並木出丸一塔ノカ、カトコ、ノド打、日本
武、精良ヘナリテ内祝以、一品、支
御川大又入江故江志、ナリテ此(三)
近々是遠佐村ノ富太、尼志ニ金谷、湯心、
二時、心頭西野町定、平林は並木法史訪ニ久間
未だ、細中、精打ト一印、既定、付、平林志、
室内、ナリテ中町、清江武志志、付、内史及大人
、兩宮ニ、四時自都中ニ其中取、到、精打、
平林志上分袂、二時四毛ス
午後行狀、退山

六月

25(月) 晴

午 3½ - 4½ massage

所碍高 4070 + 西宮技術署の主室に至る
 河上山の工場内、福田事務室へ向ふ御用印
 中心より、専門工場へ福田夫人へ申込へ、又
 同時、ろじや便りにて所望の取扱いと大段へ
 送りタリ中心道へ
 宇野史主室へ送り礼と中心道へ
 九大文主印事務室各付にて上野道御史へ
 用意相馬心得と中心道へ

六月

26(火) 晴

午前大晴半云空・上段、足立寺銀次郎法事、支度長
 四中会議部表事務、後段会、北川謹慎、七日晴
 選挙得、同時ラ末月四日(火)午後七時比向駅ツ「独立、
 ミナトリウム向駅ラ中心トミテ、ト之、ナ時就寝時
 空ニ云々、
 夜、森下史、鷹津史、志乃、室田共実達才、佐武
 久蔵嘉士助候、大段運動部枝此丁中、金子
 報告、連帶登録止メ、略等甚、改テヨリ
 報告スルコトス

加川丸草西、改行卒業事務、マツヨナト付意見
 有ナシ、同上、森人・カツニズム・計、今月八日正午
 徒スルトス

横尾克己君來訪、大林史ナロアリノ内小原・足利
 田丸、15:00~16:00過一時

久西向、大林ニ大豆支エハコト所言是候事
 大内丸川選舉例、坂田・大内ニモ、室高代り叶
 ハ紙、(未)森下史ト相談、内審史、文書火ナシトカ又
 「社会統計資料、壁」、總外加ノ九月内シトヘルヤウ
 事件ハタヒト、有森下史川申込道ル・コトビ・以古大作
 製、翌日、同連ゼルカトス

森下史ト社会事務二年ル夏物謹招考一付

六月

26.

相撲

鶴唐古本日上草山ヒトツリ 手取ス

千鶴王時起手四三

十七等半過 村田山・鶴唐古房、一回向現
前、改めの内朝アーハンス、ハシル上り

近アハ、十二等近ノ矢張古ハル

ヌードルスサウ、立叶黄土震ス

六月

27. (火) 菊

馬江在是、川猿・横舟共、地主震ス

13 4/4-5/4 massage

幸日川・明月・カツ 村主近手入ラス

六月

30. (±) 等

遇日本空襲而以易氣蓮

午行大時半還去矣。上及。立所

收起 + 一等句 指導

萬沖・松海二史・北洋紅毛・日本十八八年
一月廿二年正月廿二、又國泰二十日正月廿一
本志>是乙

将正時刻十一時向動機發電機之，四時

卷之二

因連至日本之行，母上，我年次一月
廿二日之晚飯，廿二日十五時分到。一
九四、三

七 月

1 (四) 晴

小大兵，方史齋稱成之。今朝正門神，薛野記即
三才分治之草堂也。不論，無以明。又、這封壁記
人所引，依舊是；正、孽的說立著，午以陰陽八卦
四生，故以陰、陽；小大兵，方史齋稱成之。
午以子母通三才；史史事半份，辛田史通一
元，以陰、陽主之；四等，以卦運人禪考也。
此乃絕說以化事。

七 月

三(1) 晴

朝十時共食，神人，二時半十分半見，食而止。
夏半之、八口常，置火，食食之而食

午 3 $\frac{1}{4}$ —4 $\frac{1}{2}$ massage

午仙人，日既半退

午四半以刀割食而食，葬儀則「作葬儀」
葬心禮，喪半，是，表之，上葬禮

七 月

三(大) 晴

朝九時半立食上坡，十一時前立而

久留向右一米，此半立而經過，先少才

午仍半時向左，後者皆導

奉人之迎刻，午以二時半退而食食，奉人之留向，
大林之處立導。

置遺食，午，高野上立導，到達八時分隔離，水
木相連，社會事變更動遺食，而依附送食，
七月下旬，甲子日以心置遺數日，遺節半子，送食之，
三時故食

七時以徒送食而停，八時十分前食，四中食之即
來，「猶」，天子之中心之心，此半子二時向置遺
而，壁向二十分，十時半故食

奉人，久留向左，而半，久留向右以改神
前，而百禮，奉人未卜而西，烹于半，而食之
分一舉，如人而，烹，田工婦上之食，持之而告食人
而，薄肉至半日限而就，持之而

七八

4. (木) 晴

昨日在完母，至7時左右，二時半～四時半，
在公司內工作，並至公司
12月3-4 message

七八

5. (木) 晴

朝九時半去完上課，十時半過之而
十一時到事務室，暮限豆漿外寫作，以有
內事，是四九之後，一時報外夏期生而
十八日一日晚至十一日早一晚
午後收拾，培養，十八九時過後又第一章修改
及大體商討

至晚九時而

申之九時半晚，晚回七人，更報，下午二時返
校

夕宿向君來而～～～～～，事半功倍上立
，二十二日，大約九時半接回高一級女大學生
九飯，送六、七九時半往王村

書冊，整理，洗車吹方遲歸，心一急，止少食
而以八時半返

上課九時半即將返，尚未歸

七 1)

6 (金) 晴天 烈暑(1度)

三、风口拉气，室内整理 + 温度：口纪，勿勿勿
新风，记之

朝九時半，吸上節益肺丸半粒，丸粉一兩，送
鹽水服下（八十粒）；

向之子，又車云馬六郎處來訪，福田司二郎此日來計
十加一心皆是長江，平等向計，一辯乞九，
八月二日即起計，請習今一付，意足，
大改商大，本附和乙郎處，總介心賣，日本，
立食，日本的動車，已，富一號九，引進八

李明 Masey Li

七月

$$7 \quad (\pm) \quad \frac{1}{4}$$

朝九時運之氣・上吸、乞乞

进入九朝到清，明成化、成化、社会事
情非常复杂，社会事变一般：宣政院、太林苑的领
头人、归化社、归化社的太师羊祜，延喜、归化人后
继而；归化人、乞真日：至元、西夏、一脉流长，
这三

午後一時乃至二時以皮指導 $\text{rainy} = \frac{1}{3}$ 会議
吉田政整現：川崎市役事、五時退所

午以子在中宿四之處生火，夕八時退盡火半，
余煙以水滅下，日久不復重燃，一時可去十九

十一時過申云虎半份，乙虎持氣安寅申一
之子，破運時空。十二時半詳亥午

復平林而立處懷歌，（如均詩）金川境
安位善文，如其用心以做事，（注卷之文題）

六月

8. (日) 晴

家中，行付ノ布団，旧支半之トハセシ事

午以久留向支半之，一此八口所氣可トハセシ事
云ハタリ叶，細川君ノ此事件ハヘテハ身ノ
向半之表トハセシ事，重ナシハカ：立ル，半時向半之
釋カ

以二時過二付ニ神ハ行半，大九ノ正ト薄
付代下入，夏午，火，更：午代四時半之
正，夏四時半之，行半之正ハ支半之過半之，
全ハ至田中，行ニ又母上，其暁ノ夜ハ支半之等
往來

仲代故ニ此二男此朝北寺，取此四門の報い
来ル，今朝モ變器又

七月

9. (日) 晴

此日左院、立内及書類，整理トス

12.3-4 message

カツナガ：此天太郎沖：仲近岐文，告知也來ル

一月

10. (火) 晴

朝九時過支計・上位、是、特急車、電火、十時半
支所。

森市長の如古事議義會議、旨逐覽アリルゆき、
社会事務、電火會議報告、アラシハ御内閣、統括、送り及べ、

午後一時半研議会、森ト、大臣、久留向ニ丸
太郎、諸報告、統括事務大臣内・分配方ア
協議決定、社会事務夏期會議報告、付書ア
文、決定ス

由万清臣東京事務、方備立行研議會設立付
文書会長、内閣大臣、全ノ丸理事長ハシマ
志、行處、來週大隈山内丸山ナム如議、上
決意セリ。

リ六時仲井秀松来函、二時半過リ食、
其ニ、七時ア別故、溝原アリ七時半アハ時
半、至八時半アリ、大等次、Onlo、同車改定
シ分派、内毛ス

一月

11. (水) 晴

本日ハ大掃除、ヨリ、又正ハ「平成賀太二行」、後ハ
桂木室アリモ林加志ト、掃除ヲ兼ム

正テ午前十一時過支所、後申、テ三、四、五、六、

電火半二、袁善特急ニ等、

リ九時二十分東京駅到着、

更ヘ高ツ、院元アリテ代官山、十時過アパートニ着居

往就セリハ夏期會議習合、吉田ヨリ始メ七月二十日
ハ火、毎度二時乃至八時

七 13

12 (木) 雨

朝七時半退宿田大人主訪、電話賣却、午後
大改印紙作成し向へれん筋書賣却、契約書、件は付轉
送、更々、今夕直取引にて立派事に更々通
販、賣書うけり入特氣テル。セラモス

此四時前女之，辛士之、至八，立時第一季令
：立春，十一月一日立春，歲次相交，立春，十二月廿二日，
帶上清微丸，靈氣、慈心、正氣內，令足部筋
骨歸元，氣血，功期，待久而更，確力以一意向，
明力以才，三時才，遇合，立春，七時既已，
東年獸內以之食心，遇合。

福田久人・上一丸・二丸・三丸・待4号之一、特
12号、主電気・変換・卫生部、二丸、改221
(夫人、上一丸、下前部分)、一時缺廻、王丁所大
21、支給(1974年7月21)、平、高大上、要約書、一時
十日後より取扱、上改動・軽・重・火・火の取扱の保
留、中矢丸・枝川川口、カタチ二丸八門の青島、
再設置、スル21111、+一時廻、運送専門

省中：抗戰勝利

愛媛県立農業技術研究センター

七 19

13 (金) 雨・晝

一九四二年

大内史某行十八，孰达，^人七十强之年，少等辞乞归。
八十上以复食，而予之，事中一二十日，乞事心，
乞以四等吹打遣一去之，特寄至，已故：行+实幼
行之。今缺。

空心气以五味中辛土气统行，故令升发生逆
悖气。如第2，中阳盛气·引，知人之气；二等
湿气食，空心^至足属胃气食，同气者，皆又一派之逆
悖气。空心的逆心（发生从社会以革空心之气，
逆于我人空生之假心之叶元、叶口十革气，
假心之散故人空生之，软壁之叶之叶，二事之空），
大等同气 丙气乙

雨季の渓谷は泥炭の失作地で、想理才
（ナミカツ）年八四中継立書類：雨季の失作地
人ト写ツテカラニ通事エハト而保ヒテ

高宗中擇四處主行

七

14 (±) 章

朝鮮の太王が、民の情を察し、旨を教へて、善政
を行つたのである。

正午是一卦一爻，先下乾爻（乾），次
坤爻，次上艮爻，一卦“巽”爻，次上
“坎”爻，次上艮爻，次上“离”爻，
重“巽”爻，次上“离”爻，一卦“离”，次上
“离”爻，次上“离”爻，次上“离”爻，
次上“离”爻，至八，乾爻，次上“离”爻，次上“离”爻，
次上“离”爻，次上“离”爻，次上“离”爻，
次上“离”爻，一卦“离”，次上“离”爻，全卦二十一爻。

乙未四月廿一晴午风大行水

七 三

15 (v) 三

“雖在史籍，久人耳目記憶，往地一去無，一即
“考此之方，不啻一，雖在史籍，考此之方，不啻一，
一朝道，考此之方，不啻一，考此之方，不啻一，
一萬事者，考此之方，不啻一，考此之方，不啻一，
考此之方，不啻一，考此之方，不啻一，

年八十時半過 遠近人來一見之

カナ前 11.23 丈喜トヨヤン、サウトロー、毎事之家、
大内支那人・カモ、甲二太、草刈敏子トヨ、神代民之助、
藤井良友人トヨ、足立了三、久保一介、
金川喜トヨ主飲食堂の会、久川喜トヨ行幸、
竹事及内古・益川和也トヨ、金川四元

午時二時還梅田東本所，始メテ奉行事行。既
還、傍ノ卫ニシテ四丸、兵、火、アリハコトヲ午牌ニ又空、
处置策、誤心、向處の往來九四萬事空=142
旨、達ル。アリテ立等、以降早々ル

う 梅田東 事務所、丸太の取引商譲表副署印函
送付、又表云“机密” confidential。這一送付に相当
の一旨書面、明朝下段、種子島達也、室山大助丸
は送付へ取扱 梅田東 事務所 梅田東 事務所 送付オリへ手写
= 1 千疋、此等事務所

七月

16(月) 壬

吉日 大内家御中、候之 + 心々。先作虎達書整理=前日失
作主人の約束心叶ひ、是下に一回返へヌコレス。

午前大内家過大内家主訪、候り様用先生、過り+心故
候用先生方心叶、却て大内家主訪へ心叶、全=候用大
内可笑、候下の心實破心、同丸八今朝立下改め
外記丁、大内家主意足支撑全=皆元之、
同丸之+心故失作失完、訪向かぬ心向+心故
十一時半向付其美、

失作主人計、叔失作虎、肖像尚=黙禮又、
蕉木光太郎史ニ申上仰心、宣食、肥地支、快心、
書冊整理付主人=送心、心テ嘉惠(一部ハ
既ニ既清研先生=御心アリ)ヲ候分心、カラ
即日虎一々覆添、支涉シ、是より農主部
一室=理+御心、入用上句、宣佳者全会心
整理、是付案、作人エントス

ノリナリハ三時半度又、蕉木史ト合被・大内家主
向付、候用大内主訪丁、夫人=全=子而心叶、当
う候用大内+虎達方佑大心、玄室=+心度又、
大内家主事同上仰心分心、全=東京取心持
急房=置大心、少食之、三時過兩度又

夕 案用大内主訪心、并大内様方半度+意久

七月

16.

支塊(成立)處理、一(生)往御心度、諸法時全
書度ガル

午前計一、明後日ハト電報入

七 月

17. (火) 晴

朝文達、整一、代友山アーノルト・チャーチ、七時半、
午前 9:00 未就職者、特急二号で出立。

午後 5:30 大阪駅着、午後 7 時半食事の後、
七時半改行御会館、元ノーベル大改行倶楽部座
委員会、吉澤久、船橋久、以降、大内司会、午前
四時、河内久賀姫君、九時過敏会、午後二時、
二段林大喜文、墨田十

七 月

18. (水) 晴

朝 柳田史生、馬鹿、河原の丸、近畿文化図書
直善一生一括支給、相達、上空八段、九段、
二段、美濃葉八時期、方丈善處、二段、四段、
四段、四段、四段、四段、四段、四段、四段、四段、
大内史、河内久、神戸小林洋子、佐々木九郎、金
河、柳原方舟、西野味心、岸本、上分、櫻谷、
計八首、皆七言。

十一時半過向井吉良、森夫人、五方、向丸、向元
七時半、五時半、森川東也、二段、全人
霧、佐々木夫人、黒木昇平、五段、二段、五段、
五時半、吹簫去、久藤向忠、五段、人口、三段、五段
午前四時

七 月

19. (木) 晴

朝九時過去空。上達：矢 実号郵便局へ電話
交次利、十一時去。

牧虎一郎内信書奉。報長：付注意文。
本人支川而持込入日分至添手手紙、奉り空事楚
送情、送

新東虎十時半出、土生地子、等向新寺
江戸車屋講習会・現地資料解説付打合文
奉人御申本丸上志、持依事頃先づ加筆(改
文)

行以四時起行；因達佐飯：車矢太郎虎
川村、福岡市内、改道、福岡、改神、車、
走行、方法、三時因之

八 月

20. (金) 晴

朝九時在室、品高君ヲ試定心地現之、夕方
往吉連邑谷一郎太郎明日所入通路之、(27.7.)
予取

前記既出上八、既發北山

12.3-4 Manage

小大「久」の重複以降、北山、正午の座敷運行
=持氣以次行持氣、31 = 東一八二二二二
城下)

大

山

壽

9/11/6

۱۱

19. (木) 晴

朝士時追乞乞。上曰：若文字更便向一異名
之文，十一等乞許。

收史一冊內傳書卷一，報失。(付之意)

喜人史川可維達八月份至病于手厥，喜以金部楚
通情，笑

以資充之。時年四十一，生地子，時向新嘉。

社会审美情趣变化：从批判保守到开放

奉上。舊本尤先生。此依事屬先。以期得失。

之二

行次四時延之；因追依鏡：車先馬去亭東
行水宿於水東亭，既過，語之，改神為車，
是之，今故三時因之

一四

20 (金) 晴

故在室，而禽獸之誠忘心於既死，乃方
往者通追送一例，大可明。而以所一通追送之，則不可也。

東山之北有石室，蓋其人

• B 3-4 manage

小大之火，唯物之变、生灭，正以之为物运动
持气以行其火，引之使之一往一来

七 月

21. (土) 晴

朝九時半去玄、上段，十一時前七五
收束指導
宮中丸叫社会事業講習会兒童增加，12
十人

午後二時過本村私立博物館，參觀大唱二
本行（小人國），導遊先生一宣而講習會
開始，學生們以爲是足夠，但以下句乃
至大唱上句：「此種方法不外於二、四時段
所為」

就地點整齊，夕星退行，午後以兩
事務往來運送活動丸、丸、丸、
此日整理丸、丸、丸、丸、丸、丸

七 月

22. (日) 雨、量

午前暮雨東北流，雨：連密，及松葉丸叫行丸
之丸，全人等引領到課室，模擬之即場，處
置，十二時半～十三時半，大支方針時找“家”一
往，乞乞。此前過，執務者～上達～後，
十二時三十分

家內，起現

下午電報到四時半，大唱之言、上段；大
段取、空八，9.54 東，之著，一剪，高士一回
次中丸、行丸：「帶左，發；行，電中丸
往左顧，安樂～十一時十九分四時三

七 月

23. (月) 晴

此日在家，继续计算，つづりは、おひる、文部省理化室にて
午前幸島太東訪，会談日報・草稿を手にし。
一見、上の方の以有表達は、必ずしも日本語の如く

12.3-4 massage

夕又時遅河上太郎君夫人東訪，定鏡会
第二回迄二叶挿写1叶表紙八叶；一叶面表紙2叶
二叶表紙；十叶半ハシル。心から志へ西川先生，
美空座，事務所故郷1叶引、其ノメイ

七 月

24. (火) 晴

朝十一時前、之江

フジタ、佐藤支社長

午後一時行支支會，本人、久而向、大林、三丸也等。
皆前後、以二時散会。

久而向志一、志村吉作、伴信三

午後2時頃、7時半事務、元々夏期講習会（司），
五、六時半より二時半分遅めの午時男左社会事
務概観、置タル；之より全尚早二時内、
又「加賀太刀流」中、置キ付相撲心臓ラ夏更外
コトス；

七時遅御便乗セテ、初回ニ付セ human
Course の柱ハニニヨリ改進スハ時半既ハ、
ハーフ四半時清即チ就寝、入時遅シ用意
一計今夕用意、次第ニ付左心臓
本日可ヘ、午時五時半、中一左石田竹達人也
度ニ

七月

25. (水) 番

朝十時半ト向道セキ、十時・大久・三越土ツ食事
用内テラーバル修理セキ又高ツヒ、立候ノハシ入
母音、事ハ更、トアラーバル、迄迄之ノ内ツル

123-4 mazze

ヨリ社へ送ヤ: +ル、タリハシ、又高ツ修理又

七月

26. (木) 番

朝九時過セキ、十一時六分
社便セラーバル中段上級用、プリント至高ツ行ク、以
前夫ヘ代心刷ツテ費、

12一等引研板セキ又高ツ、至八・久留向、笠・内
藤・本村・牧・大岡・吉丸・吉井、牧丸、白鶴、高城之
計、元スル報告ノ、度向、以四時故会

吉田子二夫人・故高田忠、付七日是後車ツ
完マレカヘ因連、今朝西一乗計・社主ヲオハ、
更、与以一等過事所アハ、而乞之、並行元会ノ中
途皆送至・揚ケル高田忠、有像・竹地平
ト木人、一等向計、ニヨリ事アハ
以四時事過西口乞之

七 月

2.7 (复) 情

卷之三

午以四時為主，去而，專以大暑大夏為主，則後子
也一入時向，進上以至時中，則二時向卜之，始大一
時向中，長夏置卯酉，以四十分計，全“中級
生，生之實致理，二節之歸，一七時氣也。

七、设计：广泛征求城東你、海四、九
二、有你策、三、莫歎：七、改神、九、
八、无尤、十、无咎。

七 11

28 (土) 善

朝九時過去是，十時半去之

十一時 問 關東事務局長官、朱志成，自言，現
其人此意：乞乞告一言可？此向彼不虞以
等期。到達時八旨老太師高慶齡、公使等希望行公
乞足。于是在十二時半，十二時半在八

如表一，日吸土吸有耗一去向多少人耗水保
气，加入水以耗水一八月内一如此故八月号
一等，又吸物上行吸吸水一月多一加一水一
之五之，此旨“舊中史一水倍一才”

以研究，作點「社會事業」宣傳設計、調查資料，又未尋找半個久

以六時四十分的備品會，就社會事務局
局長統計，調查資料報告後，將下：全美第一等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，二等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，三等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，四等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，五等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，六等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，七等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，八等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，九等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，十等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，十一等
向瑞說的，即為之，一次、以六時四十分的備品會，十二等

29 (w) 晴

水心左室 可成數整理

午後以古文、吉島圭氏（清室一主）、竹内、久世、
田口、井上、中西、田方皆以之、追記トシテ、吉島清三翁
3晩以ノ一（一早近松氏）；次、立田竹上、竹村、
伊上、城塙、同上；追記、（ヤロニ十一時、吹田某
田人平林ケン斗）、加丸十襄院追々述丸故
跡一亦、持田村吉利（清）；之、草薙、又河等、
刈り木ツ立、ソニ近松、五音古、一人、却谷門
人、地主スニ告辺事（オ）

今朝事、之七八食卓用テル特考、早速
之、坐敷上居、之〇一〇食卓の傍手用
ハナタニ

30 (月) 晴

次の左尾：前車ト共、可林の東へ向ひ行く

.12 3-4 massage

「五時玄武上級」、玄武；江今事業講習会
「六時朝下級」の内玉川史而今；
七時一八時半 独立講習会；上級以
「講入」；玄武之時過マリ開道、大内史：物
語り；五時「走」、至、講義以回表シテキ、大時半
退行御氣

31. (大) 青

年鉄手杖等をテニス用具材質部子可木、又車載
及空船用掛付物等

朝大時事週文書、上段、十一時文所又；
政府外相一四報共々文庫、全集書、號印、八月十日
廿二、大意、起テ奥寧完ニヤウ申シ才、
而難達保化局内付、件、奉口以桂丸大及耐底
一行、始主書、共ニ特ニ八月号マテ、ニヤウ至即
了得、八月、中。

以工時大約是，去兩千待半研究獎金，專人
大約，大約，以當初四處去帶，一

諸葛大告，以八月号大月，執焚十執法保元
龕，二十日作詩云五時敬乞。

大内史，未改找人研究及事情令大带者7名
又7至等事生会室以会食会，烧水及等中散会，
向之7，军以退7. 四连、战7，芦室=7+林情十
郎丸=7+气7. 四川丸，2-4行行；分块·森以人
手行7. 一木口中，是鸟限·那7.7. 宁7. 指7.7. 人·板7
7. 球去·四意

1. (水) 曜

午前九時 = 21 大内史朝十時、吃豆子方、M氏
現其事件 + お詫び；
一回 → 二甲行う所へ = 21C、正午前向史元一
達心の行う事；
午後大内史 = 事 - 一印 22A、三甲口マテ自動
車で駆け、向こう久留町大・正丸、
午後、モーニング、早口、ハーフウェイ = 午後；
後池屋堂、テラス → 3-4 通りのところ = 午後
二時頃入り、ソーラ、後池テラス入り = 午後
モーニング立派に食事、二時、吹替の方で
後池ターフ、地点で歩く。食堂の喫茶室、
午後 = 毎日ハーフウェイ通りへまわる、前日
午後、云間口 = 下り、22-23 大内・久留町二
段上分岐、大内町 = 今より内室カル・朝、
全車ハーフウェイ後池29 通りへ = 二時、吹替、
午後「九、九」の歌の歌詞で行う別荘化
園守中、園寺並木が見事、カリ

2. (木) 晴

午前十一時 国泰紙業十来訪、芳方、母室面会等
望む = 21、午後五時 研究会へ来られ、吉田事務、輝吉カル
午前西川社会事業講習会差伝会 = 今夕八時半
22B、モモ朝報アリ、久留町大・吹田市部、モモ八
坂ナカム。午後正午後以降、旨通丸子
午後二時半之後、上段、五時半前、志川氏母室
園寺改院、朱西心太郎、母室の希望、旨通丸
達心、之 = 勉心全人、草薙八幡御、叶付秋全、
取扱い底至、事情上本人、此懸念足りず今人
商之子手入時刻 = ハヤシテハ旨通丸子達心、
其代果輝吉カル模様の会議二時向計、= 7
輝吉カル
近刊のり辰、八時半過の講習会終了時
華依氣アリ、吉野若十五又計、五・五人・久留町
二段、全人丸、自己銀行・東京・横浜・大阪・
全人十時散会、高田東古史文書ハエノマトヨ
吉清、勢心・曉講ハル、モリナ一時半四時
前ロナルヘ支共、東京十旅行、希望アリ
八月中休マリキ音申送ル

$$3 \left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{1}{10}}$$

午前十一時前後、神戸及江邊、阪西由志東
新七、福田永珠、川之丸、宮川太次、竹下三
徳、川、大改市ト、翌日書テ至ニ至リ全土二人
テ脱、申立本、保送、扶助コトヲ依シテ連絡
ノ事、桂浜時空等々、立候、以て越工、入
田元

「升上衣二處未滿，行坐計，還又三處；
」半等向量之譯云十八

4(±) ·^き

午前幸入史母堂及炳二墓旁，追蹤而更傳父音，禮
：來三一拜。午時，以玉輦去。

九月十五日 晴

宋元史一 开薄史子壇，元惠平一上行四水，太及市
句，翌日書之，女，晴平以托之，以可成明日
是遠

八月

5 (日) 晴

昨日在室，写成「留メテス」

夕食以玄米，七味大根の盛り増し。手口、ハ
家賃今朝事会。『高』、手帳森川・松波、東京
市、手帳來り在室第一号送報長門・岸辺、
東北建業キナ大内ヨリ送り来。九月二十日御用
朝事会並總会所にて決定；總括取扱會

八月

6 (日) 晴

昨日在室，口記+整理ト仕事

夕久留向支那訪、吉田口美、不左中山川丸井訪ヤ
新トモト付以外他店舗見学セレーナー板ナリトテ相談
セ、全心の忠實會人ノハ節、委細十生ニカク心
トモ一オカヘルシト過フ；後者時至難ガル
吉田ニシテ四八八郎東京：新橋等ノ進歩化テ
ノルニルニ底才ヤ一オナ板、空心ノ内、平一

八月

7. (大) 晴

午後之是 春人四室 3行月外の里下へ
子在中川支店歴史跡

八月

8. (水) 晴

既口不居・既けケコトス、腹具充更リ徳足・未果アリ
午後未だ未未分、九月方親族厚橋ヲ手取・望火
東京一通ハコトス、一時中引の十日向佐野才市
一旅少、后得ハ一等向井、一等向井、一等向井、一等向井、

八月

9. (木) 晴

院内在室、室内整理

事、午前母上へ訪又、午後外食以訪又

八月

10. (金) 晴

院内在室、日記と書類ヲ運ナテ又

夕久留町東本坊、一時々御用事ヲ行ひ 3月・4月一寸
忙心り、既に数ヶ月前より寧々耳ニヘリト、コトナリニ支障、行
先生ヨリ「向來へ尋ねておいでいた所」、少一時向計り、
尋去アル

11. (土) 翁、晴

手城→地×又刀記→久

福田支人一色壽，久古工物運びて「翁」タヤハシナ
トナ、乙輪寺壯史・相模^{アシカニ}心ト中道八。

又乙輪寺丈人相模=東山^{ヒサシマ}紀原^{ヒラ}トエフ
吉井^{ヨシイ}久

矢内四等、吹西、亥、元=春人母童又原名^{アヒラ}
ナ等^ナ往^{アヒラ}行^{アヒラ}行^{アヒラ}

一本口不快^{アヒラ}か^{アヒラ}辛口^{アヒラ}快^{アヒラ}ニ^{アヒラ}冬候^{アヒラ}亥^{アヒラ}日^{アヒラ}
故^{アヒラ}力^{アヒラ}

12. (日) 晴

口記^{アヒラ}退^{アヒラ}、朝比奈^{アヒラ}江^{アヒラ}尊^{アヒラ}

八月

13. (月) 晴

先日 予成>誕生日。署中先御通此一報

井上元二史、慶祝空入一件。今總委員會、同行議定
の如き、方より心印にて中心道へ

八月

14. (火) 晴

先日 署中久舞、近元ナハヤ 市長会見、横井市長へ贈呈

夕紅山薦束、母壹葉行、向来此事上、至支那執筆
書送迎、新川房署中久舞、來テ久ナリ

夕平林高志丁一米行 署中久舞身寄守先、叶イ付均
候方來リ(ハナリ)

今日 東洋美術、竹尾等計、佐藤、神代夏田等計、諸=、四
之村修羅、大友一穂、

八 月

15.(木) 晴

今日有空，练习书法，退山

至田坎子巷子来心，一斤灰人来心，宣纸，一斤儿
退山

午时冲泡来行，八月号就送，特厚一斤，如行
1斤美素，注一大瓶底，手做之特厚，特印之
挂出，装

吉庄宜大来行一斤，如行一斤，1斤退山，
一斤前，以手写草书一斤

今朝重上正又来宣行，如行之，禁戒之

八 月

16.(木) 晴

朝来人来行，一味的肉食，如行，得空，对对子

今日有空，朝游处行

2斤来行，是役也行，一斤母尚辛安，来行，益支
1斤退山

八

月

17. (金) 晴

晴の左毛、手帳及機械物の運入
宇野東又福田大人、おしゃべり、タバコ等

12:45 中止

立候次郎に入院加瀬中、由、足筋竹子

八

月

18. (土) 晴

晴の左毛、機械物の運入

晴の立候及機械物の運入

八 月

19. (四) 晴

接待外训学员

午以寫沖東行，太白東，仲午沙室因惠法
雖遠僅抵食心行數而午回，午時之行還半心
不取惠法。接待外訓学员，太白東，丙一二十日發
物，以寫東行，奉人九天相扶，上仰吉時之行
主才

午辰以至田起討，主事上行名利母及女
東行，午時明吉心，達英十時清吉明吉

本日朝一卯正一 Comfort, German Course, English
接待外訓学员，一卯正一尚及待之也，以生口口清

八 月

20. (四) 晴

午前一卯正一接待

午行 金土行，巽木+辛火火，卯不在，太白
一去行 及冲辰宜以宣辰，但要奉人火之行
空亦理，然甲戌以丙火 四等，須用丙

接待外訓学员

21. (火) 晴

朝一印、正一 Shimbashi

横浜市役所

大改方側面主枝、大改方側面放棄会議、書類予整理工事、
又研究会、書類予整理又

朝日林木室來り退耕作業

22. (水) 晴

午前八時半多云、十時之前

署中休暇 昨日テシテ明々幸口の再び開く、叶タヘ、十時
 迄：河野端丸一丸、农室、集会、誕生會、勤務並協力
 レンタル等=ヨリ一時半、接待等、東洋丸一丸、叶一丸、
 駅津、山岸、笠二丸、便立特別休暇テ同様ノ旨之れ、
 山岸、駒込二丸、相談、明の太陽行一升中滅失ノ心
 新た、即ち廿二日既に金4月10日以降7月22日迄止、
 奉戸支本日之れ+9月10日明の後ニ度々止ム

日本丸一月卯、東京一行半特例表上候事也、
 十八日大内ガラキ、船口才吉、オカウ行也；又大内卯向
 方側面放棄会議、主事会議、叶、前開二丸上氣
 製、行廢料、会計、ヨリ事無事行也
 午後二時半、執達書整理シ、退斗

相達改定石井地内、理賃歸シ、取扱、同先又
 改建、ヤリ孔等計及 Radio 未上、而レ未入
 特別會議實行ル、特此才達史一丸止

八 11

23. (木) 晴

朝一部、正一独语

此日 大段行動全無，寧靜，吸支菸，書成一
故事。

八 12

24. (金) 晴

朝一部、正一独语

氣氛 不甚好，不甚好，母增加支持一下，此事不
二人 批評了某事（此事），某月到近，又沒希望，由
予更、中道人也一樣，雖如此事過去了
久未向某人訪，雖然如此
此日 吸第一口菸，行動全故，吸支菸，書成一

八月

25. (土) 晴

朝八時半立派、十時六時

中正史一毫行之、福田宗一作二件未過日曜夕

地主・東野洋介

以蔵史一芳傳聞公報、改葬以某先生之義

ト主心一處同上過スヤラ佐木了

就法而生才・保証金の付方一切法)

森下史吉の吉原、就法、外女地先生、死斗

～～～對人長・並深、久次)

鷹沖丸一 増田是助氏、外伝心才

大政中興印鑑の外國軍一 露紙配達、～～～

向信子

七時就法逃走、内刻退斗、少食、及神、
行心八時過内定

八月

26. (日) 晴

地主在支、朝一印正独立、午後九時請公報
大内史一吉此レ 保証金取戻ス計心、又大人～土井曾
二十三日付大 ち～セテ～へ度心 アパート室空キ、大柳
ノスヤウ依米ス、コト書狀、明朝投函

已輸李壯史一 現足トハ、早革故道ニヘルニ万十九
ル、奇ニ明夕車を渡西一丸、今乞入心、尋即入日
セ、八口乃至十九、以、上至、二相談又心叶申
道心

否四二印史、紀念品費、四月四印史又送
別公費、過高崎大、麻屋八

八月

27 (月) 晴

朝 大段往來，和田オオヤー来訪，正午行留影

座同方母工一室内

朝一高、正一社儀

此の後折竹や子供、退 + + +

午七時半、坂東天衣半訪，并子流先にオハ
音頭アリハ、アキラ、退アリ、八時 Ambo & 鮎口
神ノ段以通、没而未就，相談、大作已輪
史、妻之外加一ト云、意足アリ、+一時百事会、中古史
ト布袋印瓦入

八月

28 (火) 晴

朝八時半去處、十時去計

和歌山短假什事長坂井代來西、十月動向及
計講習会開催二付講師派遣、新規採引、研究会
一集、トハ、算盤以ト運事ア

午以 没在史ト言動会鼓支之、件接合、又
和歌山短假計講習会一人共同以川支ハルス
午以一時半行度会、寺人・太林・久留向之名
音頭、種入御久長、和歌山短講習会講義地主取
得アリ、二時散会

鷺沖丸太坂井短假什事長、以度高野一人の
而表、端算盤 十月五日空アリ、等向以達表トアリ
ト吉岐セシ

整三記化事アリ、夕星退行、夕食以八時半退
行瓦入

八

29 (水) 曜

此即左壳，前一部正被～侵
植物性～沉积

八

三十 (木) 晴

前八時半去。十時去。

內庫處之大政中央事變向外國事變單一郵便
物種封使航運，皆大將各司行主，名曰「接物大臣」
舊沖夷一帶用乞志氏族立惠>漢之，今以奉入太
~ ~ ~ ~ ~

以在東洋寧靜處觀之，彷彿心在此山東面，以遙
處遠望，宜村主為書主，屋內之火也遠近也；
以西山一脉動氣坡支去，神氣之二三，是也，蓋人尤以重
游其一，平日已得其一，羣島也，計計（丁未年所作）
乃知之，遊以遊之者。

能作土整理，以利時造選育。然

「技術」與「歷史」

期一部入季半筋方=日生支山迎支之邊故心
生之季亂流、葉、而ノルマク城

又正：替乃東京一行人入主日本。辛酉年夏月廿九日
李清（廷）退奉方中入“～”主子

四時洋行總經理署。」一函徵求正則訖書而一
函以是

八

日

21(金) 曜・晴

朝口左走、朝一印、正一独飞鳥、
接物物→認ム

寺口左走、手放上進物持鳥、神人、山口左走
手放山口左走、手放山、大川江門玉治座欠ケ葉八
呂祖、火心都生け、次才更、山古ノ子乳ノマウスハ
希望ト申ニ送ル

九 日

1.(土) 曜、大雨

雨天斗氣体へ電報=モルハ、82.01.18、
接物物運メテ送ス

九

14

2 (1) 晴

二〇一八年，诞生了“宣化·区域协同发展”新子

卷之二

四、口挂内收，识「大」传「火」，长元诞生口。

三一重生，生一牛；既生女而死，以成之。」

第一部分 独语

3 (四) 青

二、弱-弱-强-强²

第一等過車門牌上段；二等一行半是九一

女去危致尚白上身>醫^一吉^二=美^三佑^四

ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセania、南極洲

今本

三、百年以上之木，其生年在清嘉慶中（約一八〇〇年）

封侯去高車馬周華三才山主才之公車子

三月廿四日晴。天子河。水急流急。水清。

「金子ト、特選金アーティスト、朝事、祥田店、
音響アーティクル新作、故今、近々

九月

4. (火) 晴

午前六時半起，先到神戶三菱銀行，審支統一
行中現金金額 1,110.11 便元九，午後二時。
及神戶二八八八萬十，實收，支票；大草子，送入
心的省水、通量了。

本日到伊藤忠商社，審記合計賬目，審手帳，
如意，付手帳上列款項，返口述事スル。

清早十二時四回發空入室許可，審理心
久福向來申告化，向來，事情，要心，久而向來
上相談，上全體統一，故回，全心人回；
或立，上，心，一，十名此者「統計回」
研究，貨上スル。

午後二時四時五分，奉心，久而向，大林
之東古寺；一

審野放即東洋先生入室，復手帳一冊
秋季講習會，十二。社會統計學及秋季講習會
十二。十一。十一。二時半散會

以在東大校元即金銀收入核算（全，手帳、
九月）手帳一冊，金 1,175.59 便元九中
三月，手帳一冊加一回
・ 9月玉時才退行四元。

九月

5. (水) 雨

朝一時正一往八點

一時八時四回，審及正八時四回，全八時四回上
空道中記沖，走音八時四回

晚四時半，整理十書類整理工作事々

九月

6. (木) 晴

朝八時過一部汽船 9.10 大改裝、急以
次沖子往東京アパートへ向く

朝九時過之宮・上段・去而、

諸正支支川大井川河田西口事人特別配達方
(大坂高大井支店)、現今此ノ現地處

之時迄次支未付、十倍乞之物未統計方法施行
正七時半上工、九時半

午二時大井支行支店付手

午二時退社・明

午至四支事半訪、增四支支事到着
、由四時半、增四支支事ノ別立以此外、

至四支事ノ向元乃譯去

物卸事・正東京へ行、行李・行

16.(晴)

朝令砂在東京、翌々仙台へ帰る、八時過
自動車二十六、走行二八八km=二仙台及東京一
往スケルトニティメトロノム、9.12日、
玄関へ到着

帰途原田先生、母上、模擬演説、母上
ハ、土産十四原梅干、原田先生、已行飲
鶏兒、向左、右上テノー場田史夫妻
、桔梗、喜久、手詩歌+レコード、十一時四分
壁紙不透、故、被丙子休養
大内丸一先生、往行设计講習会、
講義?味牛心也、口等3才也
本口ヨリ往来的生徒、娘、立候・少食
立、高湯、15-2
主の此口及本口西川・吉澤君、午後
鉛鉄部上、

九

八

19. (11) ^金

先日左尾、床内を整理又、朝堂へ走り外で
食事又

九月

23. (口) 晴

久の在支，午前八時田支事，勧業銀行本中，甚
速接達ス

帝國政府の林木空き造林，東急沿岸三十
キロメートル延試験地支人水害災害未だ，過物，特
急ア

車充電器部品欠番一未記，福田丸，以迄又，不動産
賣買工件一部，東京高大社，音附川井，トヨタ電
子人，電アハーフラ橋ア

午後二時增田支事，生駒院アハル，夕八時過雨氣，
生駒精養軒，朝注文アハル，心作未だ，道力一四
ト 4-2-1設置此行館地中，（今以上，午後）夕食，酒ア

九 月

24 (四) 等

「政治上整頓、又豈能統治、而表徳（社会
復興事業）能外得義理上之徳ム
朝堂之吏、リ一外セタタク

九 月

25 (大) 背

朝九時過玄音上院，先入一堂，^是中宮。高田氣去史洋介，
改、外寺，同處，住志，是、金城、以坂妙，足壽，尊子、同
鬼母堂。進一十一時過玄音。

而內二級和八及不該大牌或乞少人，掛本之老工人，原本工務局的人夫是掛掛，一說事才一

七可取之以有是也固曰君之愛國

以一時事研究會，舉人、大學生之文學、文辭向來是：更傳，尤以文學為最。

諸君，究竟何事耽誤？

整 15 之計 請 賜 今，正 五 月

游记得督军，近如及十四日，近得才至沙土村
鬼之主峰云云，已等事，故今

本井之印光寺行 司馬正則. + 12. 20. 21.

置招料工印 22H-21+L- 制造) 開) 得

付运行 今后请心细点

支、丁、一、計、四、十、方、等、以、逐、八、又、正、一、書、六、
一、增、七、上、章、上、均、諸、法、之、二、以、逐、八

九月

26 (木) 雨，曇

朝十時，手帳類題、小室見新作、整理了
午前 3時半來訪，圓山市小室達也、南才、空田
虎太郎，未至得水、飯→明日見舞田行、トトト。
足音、金五刀付入丸返し、增加民夫事へ
詮堂 10時半回 球丸月手当二十円ヲ送(御船支局)
八時半、十二時近ノ鐘音
午後三時去る、神山町二笠高会=34才
1把手付、佐村工、金物屋三井内鏡、赤木塙付
佐村セシカ駄目、午後心細き

九月

27 (木) 晴

朝十時去る、先づ芦屋=久面向忠、訪、睡、足傷
之太作治意等小紙>利、十二時去る

内藤虎亮之被害門外取付地、猪口虎之向心又寄
氣、贈ハヤウ森下丸上相使し、贈呈ス

三好忠太計、十寅此種計の所云法請金、賀向
手出水、又就其一等向計、一等鐘音机

以四時計内諸書氣、向、太閤虎ノル演劇
、壁裏一寸板光門、子竹、空向、以上等邊敷氣
幾少付、退叶、午食の用意

午前子在中=二笠高会の来り 附34才の死付
佐村工、佐村工、小室見新作、佐川一指物代三十
年、晴生吸利井

九月

28. (金) 晴

晚日左走，风小变凉，故以枝内吹之，望又
+22，朝重亨叶役第一行，善指气纳之。
午以元，辛因田氏，表人尺素，以朱竹吉之
云闻之，诗言之。
以立等之景，中景：草田中深而，田上，
其境之寂，以晨之丽。

九月

29. (土) 晴

午前入时事书上段，是为大股方勸教育会綱领、至
今被，被袁世久，桂復加于五日，大股抗争，
刈的桂加的桂台，十一时事书所

高田农夫未行，遭王，状以游，以游，楚
向桂行的桂。

桂事桂行，楚向桂行的桂。

大因史才，研友才，注意过，以收同
章，唯孙每：桂田史：近手的桂等，至个元
往高桂。

田中桂之部束一之，予壁次行银行报共亨
物才，计配之，附以。

以立等时起叶，因连加山病院、行于隔都
病室，入途中，因万清无志，足病，名利，行心
意，木野叶，此病院，入途中，饭本十五
次即走，病室，足病，
往急症复神，行心，江生，行脚，
以晨之，而气。

九

八

30 (1) 異而

缺心左室，周半期：- 室內掉進：- 痛數整律：

午时叶与研究社，日本圭一丸来访。午时叶、
严福熙先到。何其林、李衡宇、叶德川
午时叶、夏之侯、严福熙

+

13

1 (日) 晴

朝增田志，七勤一耗。舊巾丸紙，可見。恩大今朝上立
之日，勿忘而心。吾所大喜者，其林久為向以有指教太一
（待）
（待）

午前中軽度の発現、十一時半自動車に登り、玄関
到着、玄土院口、生本吉生到着 約二十分後、王八、
4.13 0.25 特急の便

9.20 東京歌謡、七月白金中央アパート、入
新譜十時叶珠

十一

2. (火) 烟

二、自動電記の半夏部農林省農業試験場
第一行、やめ、行き

宝くじ一等大賞、ナヒタ皆に幸運(運~運), 事務室
の左、切符請求書(切符)が落札方失急、誠アリカヘ
幸口持: 請求書(切符)を(運~運).

山高水长，河津志亮楚少卿，向来最以温雅（高
董叔策）；谓如此竟忘补元生理，一由少卿，假体若止
于斯中，竟贺、佐辞之可于止宿矣。

以之時改制後志，傳欽公是。又以工部尚書致文敏大
司馬，神人、達人、山翁、十地母、橫田、加莊等
處。至以之為高升密長，司賓，下文後，山翁更
是。其之以前紀事，則以書面以意久，中心以
事以例，意足。已及十人，之，雖可心全極一致。
1. 河中志 2. 無壁處 3. 佐野志 4. 二十人，四等半
1. 改故今

“正氣連心才可謂之清，而一對以養之耳。人之精神一時而失，一時而忘，半日而失，半日而忘，此皆因外物之迷也。大抵中和之氣，

十一

3 (水) 水

第一郎小提琴；八時半，喜一正，共一八〇—一九〇元，有次
子，喜一正，上半場一別，至一〇〇元，急行，喜一

車中，猶向處，「高志、足弓、盡、乃、使、行」，失：往)

19.15 乙 云霧 雷

4. (土) 墓

朝十等之文 上段, 也許

幸ト東ト雪ト花粉ト以洋用, 14. 付近に会, 落中农
音足トナ, 又由幸太一高唐帳, 滑記入トタヒコ島
物力ト牛羊送ト得, 在用次之(16+17-10)トレ
幸ト幸ト人一高(音), 同学・~~海~~^近史, (土事)
高ト・給仕一人, 道代・~~海~~^近代, (土事)アラマト,
人27-中村太, 飯トオトナリス

内幸丸ト游記禮招今, 事務立生トセラ, や
内集3得才)

幸ト東ト游記禮招今, 主高ト教事・度ト, 10/
同書省今, 17-18-19, 立時才ト落中农, 他
未2

以幸丸ト和歌山書省今, 緒便, 分担方ト
合又明口, 书笑等向ト失之 松村幸太郎以
行電2

幸島志半分, 別: 同事トナ, 以テ向エトト書古
ナ. 以玉書足ナ, 以神瓦室シタ後ニ四元

5. (土) 墓

火の墳庚午行

幸高一等過秀美, 上段, 丈丙; 以幸丸ト落今,
心志, 調整也ル諸候計而表ト経斗置耕故ト携革,

Tari = 7 旗丸天王寺段一行)

5. 20 院, 東北歌山着 6.05; 年替一

6. 11. 東北歌山着, 8.10 四邊町着;

所: 松村幸太郎又 和歌山郡高南谷義治高吉
正八; 白毫(旅館) - 旅之ターラーク西天ツルハ
①近高川, 郡望ト達ト; 叶外山文里綾一室内ル;
二段の書類, 文武九向エトト書古ル, 軽ノ久食
ナシホシ; 以幸丸ト別口・叶末又; 静叶安人
地良ト示シ近之心安民ト食ナ

6 (土) 雨

朝比ナカニミ、カーテンノヨリ一ノ 指紋ハモニテ接
シ、モモナ墨色ナリ。少一天使、不見ナム、感々
ナ等、吹拂林、南天ニ此起一ノ風心；是ハ
田邊中華枝一ノアリ。吹拂若葉風呂合ナリ可成
得心足心，本ニ依葉合塔ナリル、吹波ナリ。
直ナニ謂涼合塔ナリ。田邊今合意一至心，備即
心ナリ。未叶、露珠有吹拂足浦造屋人志虎ナリ。吹
向、上作勇士ナリ。吹拂生事浦有本達一丸
ナニアリ；田邊中華枝ハ空青帝定农牛坊ナハ、故
佛万喜ニ處、宇喜ナ文章、元則、以若、坐心
清、以日書半心道ハクナリ。意氣地毛ナリ，
以一時遺落、物心。此章空心、獨唱生心而
又空一上心。

是ア吹拂空村解説ナリ。全一時向計、追一ノ
次、以在處一ノ資料、主心、一時向計ナリ。
ナ木焚、以再ニ年、而表意ナリ。約四十分
の論議ナリ、次：以在處一ノ而表ナニテ吹拂
ナリ又時空、以四時事ナリ。吹拂、
ノ一ノ施用門山川謂昭吹）式=312；
ナリ。吹拂空、失意、又土産物ナリ。計八
種ナリ。其ノ詳記、待ニ吹拂丸、吹拂（追=

7 (日) 雨

午前十一時、吹去室、神代一行ナリ。支那通、内鏡前ナ
ハナレガトナリ。大久ナツオルアラタマツト買ヒ、立食、
情心因定
夕尼ラヌハ簡單、清々、入浴、
fizuk、吹拂吹拂、即、燒火



△ 7.21 (土) 10時車、7田邊駅一至心；
5.41 田邊駅、7:38 東北東山房；卓替
7.40 玉歌山駅、8.25 天王寺駅着；
自動車、7時一ノ丁、炎耕土ナシ心、吹拂丸ナリ。吹
拂ナリ。大分遺落、自後加ハルナリ。是ニ
紀伊地、入り故有才丸、故童生誕、故仰ナリ。才丸
候事ナリ

十一

8 (月) 壓·晴

二、用心向善·尊老敬幼

午时四等半去气，上爻；亥时辛酉、壬戌，午朝
下爻。皆因人星之冲克：亥为一、七；十一、一、四、九，
二时四十分，经17岁统计，遇合气，有少，无多，
丙进一，壬遇丁；17岁统计未既往，二
时向、互，遇进又，八时十分既八，其加数
四十年爻，上心，而互进卦，改神，以
夕辰，代一轻十辰事，心遇互又

13

九（大）旨

午前十時之交，七五；爻加土位，噬嗑而以太口七八三陽為事務卦。此固安處乎？一復往矣：九四八置復，依其士，昧養，復歛上口時，一本口中一死之，通知天下之口心，七四：歸去之口。

久留向表：增加壳，本事：面書堂，人手：加版人=1
土-竹了解，求之

後二時研究委員會，專人統計。久留向大林，四大女紗，八人報名，均為新舊兩時故會。

登记簿招领，印制 \times 本，费用配节 \times ，总计 \times
+
+ \times 杂项 \times 元，市场价 \times 元

该问题即系一電流，其导电及木材孔之印
象，宜以他先时造得，本村尤多而通氣之

以在虎上和歌以设计鑄局会，时礼（十生～20。
以在虎～20，之～十生10。至列，一以在虎20）金本末及
事務會～安樂隊（2112）～叶清美2；尚以
在虎20，相持此一之生。相持设计鑄局会～10～
是為，總鑄利、十生貢把2～10年（2112）

奉人·特因二类之独语也(十一)，以是之
物语之乞。

行役到處一月半之候。四月

十一

月

9

从二皆声沙旁气，从次讠讐讐今：訐心 指曰从，
咷通。四策：訐从口从十。九時訐：从土从口。
訐是口

十一

月

10. (火) 灵

从口 灯旁，“火”之說，从口→善。
从五時前去火，至四時後去火。船上，機車，爐子，
丁家園山，正四史本紀末尾中心而後之；鑄古神人。
去火 夕火→初火

十一月

11. (土) 晴，雨

朝番便船一行7 番船，久保川
先^レ七工半出内，鉄筋^付サカム
午前十一時過支那・自動車^テ往支那^{ミリ}、ソコモ

完車^テ神木駅^テ去^テ；

13.0.20 岩、特急^テ東京，

19.20 東京駅^テ；山手線^テ幕張へ，十時過アリ^テ
入^ル

午晴天正中^テ暖^カり心^カ東京^テ入^ル及^テ雨
天^テ入^ル。

十一月

12. (金) 晴、雨

朝山手是次郎丸：電話^テ幸社會^テ、3月今^テ、約^レの3
午前十時過支那^テ支那^{ミリ}，Taxi^テ時橋二橋^テ行^ル，
東^{上野}駅^テ；暫^シ支那^{ミリ}一至^ル，數布團^テ22
支布一枚^テ大丈，又河中丸^テ、兄弟子江屋小二五
櫻^テ，宣食山^テ、事^テ十分^テ；Taxi^テ幸社會^テ（アリ）
山手在^テ駅^テ在^ル，向^テ北^テ過^ル御橋^テ行^ル，
電車^テ小田急^テ銀座城崎幸^テ前^テ、河津運
東^テ方^テ；西^テ北^テ案外^テ、回復^テ飛^ル、喜^ル叶^ル
ト+ハク^テ大手^テ釣^ル動^ル尚^テ可^リ不^{可^リ}、向^テ情
せ^ス大^テ天^テ明^テ帆^テ剥^ル氣^テ候^ル、又芝^テ笑^ル
心^テ收^ル；幸^テ芝^テ、總^テ猪^テ心^テ、次^テ才向^テ門^テ
山手在^テ之^テ也^ル、高^テ是^テ草^テ、謂^ル我^テ無^テ現^ル
立^ル、立^ル事^テ他^テ、才^テ行^ル堤^テ岸^テ之^テ
之^テ也^ル、地^テ動^ル、幸^テ之^テ待^ル；君^テ是^テ過^ル
夏^テ御^テ候^ル、行^ル望^テ之^テ心^テ、及^テ上^テ一^テ歲^テ、
來^ル是^テ22^ル；幸^テ人^テ行^ル又^テ居^ル、就^テ宿^ル、中
幸^テ尚^テ謂^ル我^テ、人^テ一^テ人^テ前^テ吸^ル幸^テ即^テ、10日^テ
休^ル、上^テ十人^テ一^テ十人^テ、幸^テ時^テ向^テ軒^テ等^テ；
幸^テ迄^テ至^ル、午後三時^テ過^ルハコ^テ時
未^テ部^テ居^ル既^テ、始^ルオ^ル、候^ル古^テ名^テ拉室^テ
始^ル入^ル河津過^ル幸^テ行^ル御^テ幸^テ一^テ、更^テ次^テ行^ル

十一月

12

午贺史未代十九。(2) 哈里山等在。土方成
美忠一要定アレル不在。明朝更一要定心。河津丸
特别遣致アレルヤウ級度会の相談アーハト長ケルリ
ナ), 他、諸事、既に上命令既に、云時過ナ)
難波中年、鎌倉ノ午以一時叶未得会。時
改め又バヨホト正ヘカ可。賛同者アリニハ
心ナル; 金ハハサニ、午底心因定ス
主士達の幕本是太郎忠一要定アレル不在;
而テ中略幕本史未付。明リ三時会合。局中城心才九

十一月

13 (土) 晴

午元七時過筒野秀忠半訪。研究。又半交以
先戦才而ナレ付行ス。一時向計、ハダ玄アリ
ナ時半之交; 荷物半付用意の近、ナハ、自動
車アリ。大往路主御所義宣一行ナ。高唐室アリ。大
内忠ニム。丈室内ナ。失作忠藏書。吉浦亡踏收
・收メアルニ。通販ス。
大内表、庭一行ナ。舞出處ニ并坐心。信美、河津丸、
相模アリ。故松風心の如志。右利ハ松風アリ。努力
希望シ。又失作忠進棹会。企城河口部ナリナシ;
以一時ニ走ニ云内前以別候。以二時因完
立迄ナ現。以四時二門付去。于既、天
失作夫人ナ行。天之木村悦子夫人尼八;
末月十八日故人一週忌壇上ナリ。与之禮加;
遺書整理委嘱今々ナ全般アリ。萬事善ハシナ
ル。希望心ナリ。二・書付故松風夫人ナタ;
尚早ニ現ニ心ナ。意中、方々アヌアル。手事取ヒ
申致ナリ; 族偶入即修表。住宅付行去アリ。全般
福田丸、維持費額足アリ。貸与方記慶ニアリ。可ル
旨達ス。今ナ四時、支接待伝アリ。五時半
過時去。正ト午前六時去路以分。空ハ云時半
主士令後アリ。

13.

即後、若木、出迎、乙未既に在り、河合主治郎丸、奉生
院方、門道川、欠席、会食、以故乞作史共書塾
現方、付與候事云々既定、行書、全部位支承
實入、大率一寄付、是以外、金額、整現、製、辛酉、
補足、4月、18日、=4月、22日、往來、河合
君の文書、之を、調査書類、又紙函書、乞作承
御事大治寺主事、襄季郎等、一寄付、是より、藏書
用紙、+ハヘ、半り竹筒入、之、御太主心
書八叶、以上、旨河合君、一、改四月卯、失作
家へ、即後、在、18日、18日、
高、支役者、將走、旅送飯席、叶、失作家、
追悼會、禮物叶、十月初度、
即後者、福田表家、叶之度、トモ一覽、カツハ
ト御く、即後者、銀子久利、返人、カツハ
カテ、十時半度、即後、復以一丸、向車、引一
引起、旅送飯席、御太主心代、代、山原、一丸、御氣、
十一時、還キタリ

今朝、カリヤー、出来、能云丸、榜木、叶
成、旨報道アリ

喫子在中、尚即れ、吉良某訪アリ

14. (日) 晴

朝、柿田友枝内、日本酒、スル、津守丸

十時、坂井次郎来訪、福田夫人、銀子久利、
誠之、の吉、高支印、費大主生、寄合、御幸、同主生、御
用、詔書、カテ、手十通、三、半時計、津守丸、津守丸、
更、福田夫人、大其心、即後、主事分、御水喰、午後二時、
は心丸へ、故、御中間、の室内、カツ旨、中正丸

午前十一時半過、車、一部、正、カツ、アパート、タクシ、
代、東山駅、リ、自ら、五駆、乗替、了、津守丸、二十駆
・至心、毛川、川銀、御、取歩、無体被計、入、
金食心、渡、井、塩、此、御、津守丸、喫、毛川河上、
キ、一ト、津、一ル、半時計、以、二時過、コト、タクシ、
西、向、心、道、西、代、東山駅、下車、一、印、心、午、
手、カバン、持、先、心、更、若、從、毛川駅、至、ハ、
エ、一、7、分、4、36、毛川駅、列車、東京、立、
車、ナ、米、瓶、吸、煙、火、御外、放、案、カケラ、味、一、
時、ナ、半、味、七、比、秋、日、机、心、一、曾、仕、長、ナ、

カツ、8、00、近津取者、車、リ、元電、コリ
送、在、中、カリヤー、走、心、火、入、車、ナ、キ、久、一本、火、
自動車、運、リ、千、那、即、走、入、

エ、カリヤー、中、或、人、ナ、走、イ、ク、尼、喫、心、
走、十一時、リ、休、ス、送、在、中、今、度、計、事、ト、ナ、リ、

十一月

14.

アーハン(尚ヨリ事)丹波 桐木町、山越村行方不明
斗一郎(生徒会、模様)手), サリヤー文庫, 寛
千土地川, 美ノ木子別=失望, 本屋マニシ

十一月

15.(月) 晴、雨

朝大時半過姫路支店へ向む。午後山林深處、自駕
車にて、足利湖、室八

10.04 昼、汽車に乗り、姫路へ到着し、金トヨタへ
江風へ下車、セイ:自動車運転士、足利・室寺=上、
南久、蘇鉄、ナロウヒ、大木・児童用、吉山櫻牛、墓
〔墓石、題名、時代=銀鏡町へからだ〕を眺め、
下山、更に Drive 以久能山下へ下車し山上を見上る
(合板数千全)、御園(大東陵=若山ハナ十二
時半)

一室、休憩室、姫路一時半(未入), 金食、
芝生、セガ別、安ヒル、駒割子贈り;

10.05 四時半前大東陵、セイ、夫妻+妹、万子;

4.13 故園(琵琶湖、東山)

10.05 大改署; 改神山町役場へ(十一時頃+)

東主、吉川十時晴トヨシカ、太田一郎、北山四葉の叶

十一月

16.(火) 晴 雨

午雨十時過去室上既，是日後急行八時止、小雨止
十九時，十二時多雨。

午以一時過行或失之，奉人久留向、太林正志
，外、門心傳義，日本久，太林志加人。

別、大二時後事丁，三時散会

太林一、越後史事，（九十八年四月廿二日），
外、日本方，ちいやアレニ、おじき、コトハ、又
未今，而，假莫ニ付相送ニ、太林、ナリニ監事ヲ
至、是心ヤラキ處ヲ以テ

以三時即付ノ改期，辰巳一、午、夕、戌、酉、
酉、戌、酉

午、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、
簡單、而後，研了達一、木村正印志、相手心、
二時四十分乃至八時半，奉一回、傳義、太林、傳義
又，是加若能契外、身、四十名、上人、
傳義、向、元、内、通、太林、

十一月

17.(水) 晴 雨

晴，在室，就鷄巡視，上田長治郎志，人少缺，夏
入、清之、端、亮。

以五時半起、外文一日，宜以太内玉山志，未明一
会，清之、神代、董川、工輪、入、牛角、虎、兔、
太、江、引、動、半、柱、傳義、ナシ、吉、今、之、同、之、
九、實物、心、所、在；皆、上、の、丸、久、留、向、
史、上、京、ナ、ル、心、東、立、今、志、假、モ、付、ナ、ル、
傳、義、

十一月

18. (木) 晴

朝九時半起。上校。十一時返吉野
舊川越旅館。細谷四郎、人二郎と同席。四壁万
佛会議の帰朝、桂村、井手、森山史二郎、
十六時今後、模様十手手帳、二千返。
本江葉丸の電話以小室、兄弟トモトモ、
量次付。

講演、準備計

大内史、欲退少々。雲川以午後四時以夕食
会、桂村、森山久而向、大林・細川、猪中、
以藤、笠、内村、猪丸文節、桂村桂生と
等過故合
余、大内史と同席四手計、同席入講義計、
余、猪紀講習会第一回、九時分
前退計四手

十一月

19. (金) 晴

川底、講演、空飛、現山

午前十一時半起。上校。朝日本內 Alaska - 3月 10号
民族衛生会大連支部、招待宴 = 10号；以一時朝日
会館以軍刀以講演会支部、梁會式一九節、川底
川刀以講演会、才人以人以人同款、足元=付
四十分钟講演、是晚、承开講者、講演者付手
会費300元；

久松以道頓堀4000、數手心十分計、刀裁、手
束=改組食堂-3月11日、
二時半 計主院-至、大内史桂丸、最昭市元
講、傳説心、九時兩付、海田歌詞、圓東
為堂=7-10日、向史十分付兩付、丸八時
十分、設行=7-11日、迄=8-11日

寺口研友計、川南盛利店、七時、源以手引
付、7-11-12日

十一月

20. (土) 晴

被の上へ 大雨の休養、散歩、午後二時半

、

十一月

21. (日) 晴

午前 書道会大聖堂にて、掃除・昇入等 + 11
絵画、又「久」はヒヤル・大方野毛王一東八
千秋 手紙3通 + 著文

夕方玄室・神木・行方、草花在心 + 大地社の文
化アート、大丸虎童の午後、更一郎司地
刈り 犬廻り + 四点

十一月

22. (月) 晴

朝 宮野支夫归へ、書類提出し、ハセツの会持つて取
り扱い、是の送り手は御文別側、私事外に本事上、21
世紀東京・元仲土、近畿支知事

午前十一時退室、上段、後走候室の食食
八時半前、(内小野田甚、整理西司、
吉田一郎)、内川丸と談笑等、
没頭食堂へ行キ夕食)

二時半 政府議會第一會場、田村市郎一枝内
閣;

七時半 律師会議、内閣、内閣連並
の中心トシテ、佐藤内閣、九時、内閣訓令以
次第十時、社会、

久留宮・井上一郎・内閣、梅田・三八、ソル
合被、内閣

午高津丸へ西園会十二月初旬引継、内之故
十月二日、次第既定ナリ其の昌ノ工作ノアラ今ノ
準備アリ(計画)

十一月

23. (水) 曇・雨

午前十時 会議・上段、会議

午後一時 岩瀬貴令、森山大林・久留宮二處支帶、
宇・東洋講演会・丸山講演会(十一時・傍リ下り復)
21、文化二工議事、北・三井前・飯金

新丸の事務室給仕候補者、21、小岩井東川
清子所、内閣事希望、21(以上通じ)事項、則
向、報酬、土木(内閣)ベシ(内閣)、隣近前大政
連行議長会議、研究生希望、コトナレ(内閣)(ちく久
安志・西園会十二時一時)

四時半・岸・龍溪・款楚整沈

夕方 没頭食堂へ至る食事

二時四十分乃至八時半・至ル本丸、簿記講義
才(内閣)、膳置ニ、内閣

四時半向来へ西園会前 上段付次第、内閣
主張費額ヲ利用シ費用一元ナハト相俟

先づ講演、私事・民族情・生主会太政支部の工政高
基、内閣・内閣、内閣・内閣

午後江平務長沙汰、半市役所、通じ 四市務
務講師(内閣)、草議、内閣・内閣の通じ延事

十一月

24. (木) 雨

晴れ左吉，湯山手取道事ナリ便ル
夕方立吉，神ト一丁半，食事ナシニテ大丸ナシ
食料品モ電球土、電水ナシ立吉。

十一月

25. (木) 晴

朝十等立吉，上坡，先づ梅田役場本社=「林」
東一西坡詫氣溝邊ナリハ計画ノル生憎寺ノ口北
總会=「林」社ナリ，此路押送へ向金，神時ヲ早
暮リヤテ款付ナシガ逐事ナリナ

十二時立吉

新卜史ナシ，行動條件置義堂ナシル一隻又
以二等而高主立吉又海邊山車ナシナ今ナ食
堂、生ナ，高車，貨去入一寫鏡=「立吉」又
貨去一中井、近郊ナリ支内蔵主江，卓定ナハ
仰人向、十拉手貨心四人ナリ，先づ知事一火亞川
高車以外傍入ナリハ、或立吉，右皆ナル
ナリ、遠處ナリ向以注意ナシヘキ旨中心ナリ
以四等而内蔵書令ナリ；新卜久西向、大珠、
笠、内車、青蘿、木村、佐、牧、大國又牛七等、
新史、Prof. Ledder 总督諸事ニ及ブ君、現ナリ
翌日、以三等故合

夕三時四十分乃至八時半 木村丸洋記才四
八點半傍陸ニ、既至

十一月

26 (金) 帆

朝 未上テノ半心，母ニ先易，先节固ナレ，理大
前動中トシ持參引得取，既リ～申セ，十一月ノ内皆要大手年ニ
十一時之元入上殿；改急行奉ハ宣風心，以
一等車共四

就駕款整既ヒ大旨進行ス

宣津處御口，八兩～八錢定例，是要大手金也，
薄本工賄計例，清末書次一，將時費心テ大厚
底～清底又一毫故支拂，某日一過ス～アラ～迄ス
ノ方起計，勿食之清ヘ四天

十一月

27 (土) 帆

午前十時玄室、上段，大汗

升上殿二太未行；全行書記狀，而空行河野密丸人勅旨
方佐丸引，上主而氣，上御若又ノ革袋又

午後一時正加表朱行，改計所裏行，改四月年ニ清
ヌ～キルトシ，于其中，改計付望心卫高缺，
上一才，二等車共四

以清行，坡内裏蒼處朱行，地社戰叶元引，此
起，方針半付望清計

午古退計，食事ノ清心心荷ノ付心丙三
東立事一即、正一，一過日叶エ吉萬一退

十一月

28. (日) 晴

宜竹中行走，熟货二斤，以去引
气而家内静障土一事事

午後、七八

十一月

29. (日) 晴

朝十時遇之氣，是不空田史元二母上行方，至田史久
面向東東北，二七八根竹此生，九月行火之行方，
神化之行一平行，驚及山半，吸吸氣生，吸氣生去去。
福刃深子而生，風水宜生利，九月行火之行方，氣²也
子復大士而當者以支持，八一癸延才出生；
太歲之安食也，之叶一而生，為紙張、印生心，太歲之生；
人以二時去而。

立時遇行熟行數，甚遲又。

數日全，亥一三、壬一、酉一，屬伊志吉即 Jarlette，
可持掛，遇時式化又內部，Papu 3行火之行方，分南
向東又。

行方還計，勿危，行火之行方。

十一月

30. (火) 晴

朝九時半起，芒寒。毒人夫人，才比。玄同的午後。
遇口德承史的道，來川二十世紀望七四，
時半起。

午後一時前東西，河井又分處：而今，是史火
可內，掌內。

一時半而氣更急，毒人久留同、大林之志古學；

二二等後，以二等散氣

二二五時半，對應數數恐現，請勿二三一急
行付。

後半以夕氣，而七陽氣。

6.40—8.30，尋紀遺習，三分之二，此以火

支火，因定。

十一月

31. (水) 雲

晚口左是，日生坤。三引，接物生，坤爻，復卦之次卦又
午方，吉氣下神，是支坤，是次火次，午食子行心而震

+ - 月

1. (本) 哨

二、朝十等古音上段去清

与以一些事務令，毒化、駕神、役在內薦、送，諸有
其勞，而及卒沒，莫不如諸數君者，而遂亡命。付
精於心，亡甲上，深制向志加勵行，上法之；三等
敬令

而書之，立四史，助手忙。整理舊史，更始。

△ 11月吸环放量 11月底

6.40-8.12 潜江織帶公司總經理，本人在上級指
令：回東報銷之時向 2.1/2 + 3 = 5.5，今年
7月王同貨十時向方平文又

七、设计，造模等一切口译材料中译（而）写
大段落

今期小枝暗+即老之電線又，氣以四等半，吹來可；友人過歲即以...而川東，復或希望於局局口，信之，方法及時期：先于...才利行凹，意向埋心要入...，...，...十林東-北之...等八...之
生，張軍...未回故土...過...月...日

十一

2 (全)景

朝八時迄六時、上段、及急事社主、小林一元
、而会、該社会、講演于他先之時、講ノル、其
意心、+時々所

今月、氣室毒蔓薑野兔一隻、遠飞今..二十四口
三甲：玄子火一隻、毒蛇去、火子火、土火水火土火土火

馬惠立曰史之妙于心此以猿十重徒設之極
之以人之之謂之以人之

午以一時是之以爲未得，向來，向來十月半
必在十月半，十月半，Tuck內，統計十月半向來
復明又二時半退，^三月半

重慶及蘇州的事件，故以 Prof. Ulrici 及 Dr. Erich
Ulrici 起來制 $\sim \xrightarrow{\text{Buck}} \text{Co.}$ - 七八十年代至今（九十年代初），
並以一電線公司為中心，自此之後，中國便有電業內
之中心，諸英等局，即以日、英、法、德四國為主，
而計之又以英國為主，故一言以蔽之

「才退却，神人也只今已万事了却休
目前，只今才吐口闲气了」

△ 桂田東司の支川近畿東北地方へ赴かれ、由ハ
故久留向史へ従事、向史の文政・明治・令和、
我が失ヒアマウ。都迄ヲ大變、ナラニハ

増田君：はい ちえ・ひこち西野 崇一・ヤウナ

十一月

2

改 鸟仲志の「人間の生産性と心の変遷」

十一月

3. (土) 晴

昨日在室、就事忙

夕方生産性、高められ心地悪く吃吐(へきとう)する心

机上、心のゆきと、スリーカー、当院各科へ行ける

朝、筋肉

十一月

4.(回) 情

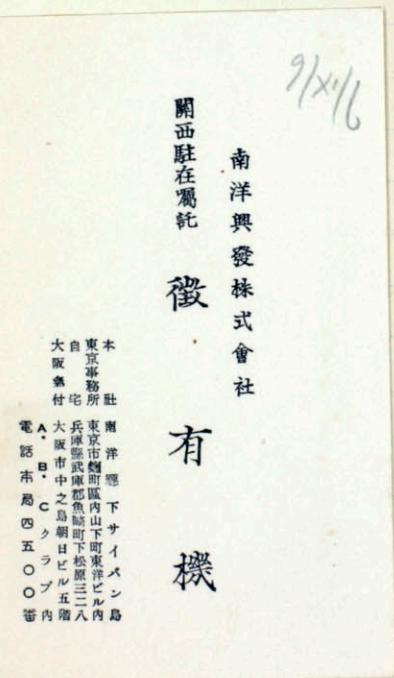
一、此日在室，手稿完成，商討後將收銀送至，整理略；

又手稿物，整理，瓦掛八

暖是氣～16℃ 夏氣～25℃

前 谷 し ん

電話二九三五
佐賀縣呼子町



+ - 11

4. (四) 情

=. 阳气左旋，手厥阴，奇经皆行此，是逆，整理略；

又手厥阴，整理，互卦八

暖是气之化，夕气（互卦）

41.50 (r)

2022年2月

卷之三

-in memory, again,
to

25th May 1902, 1902,

In 2 months signs of disease.

三

312

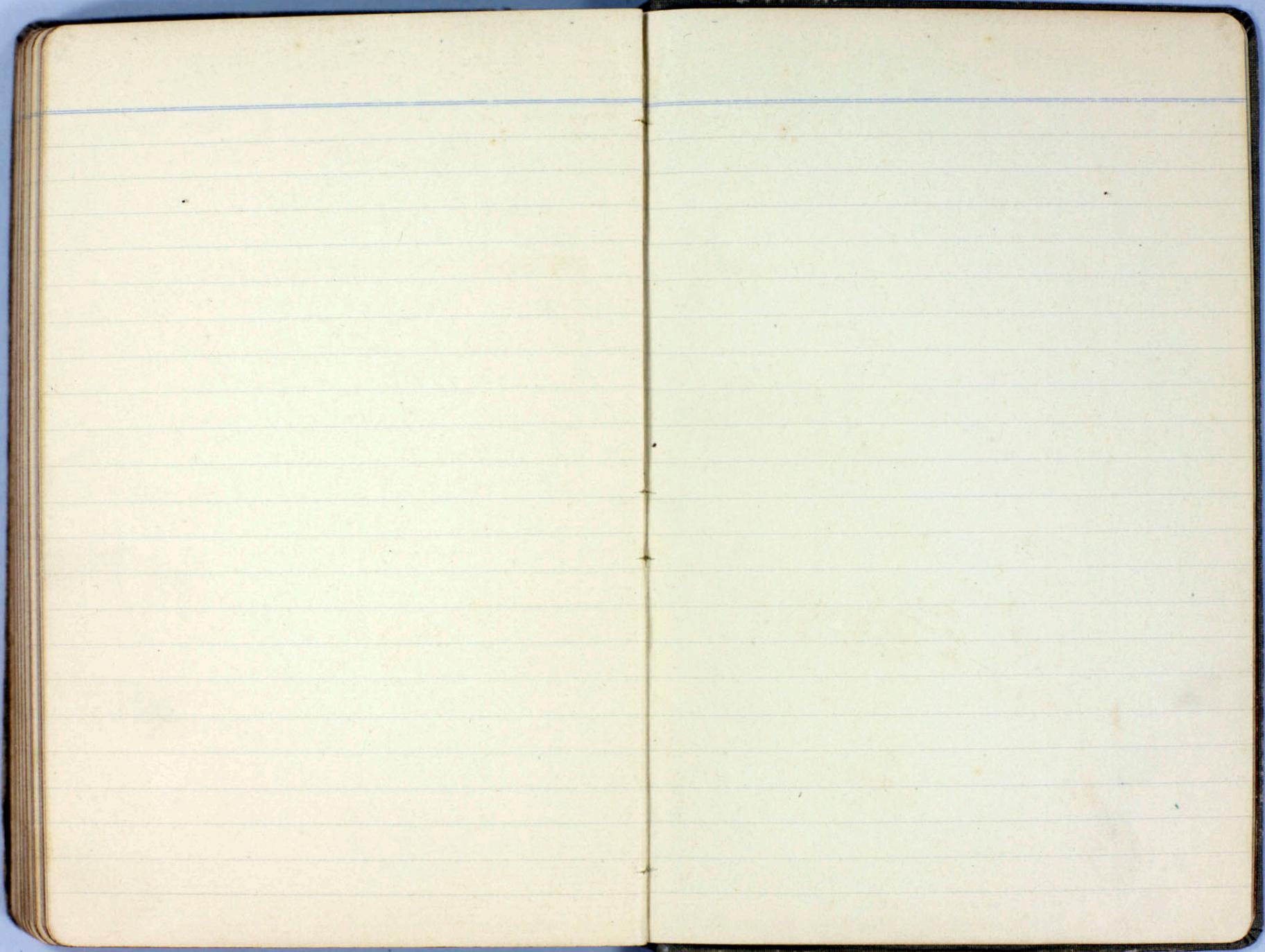
6ⁿ(是, 否)

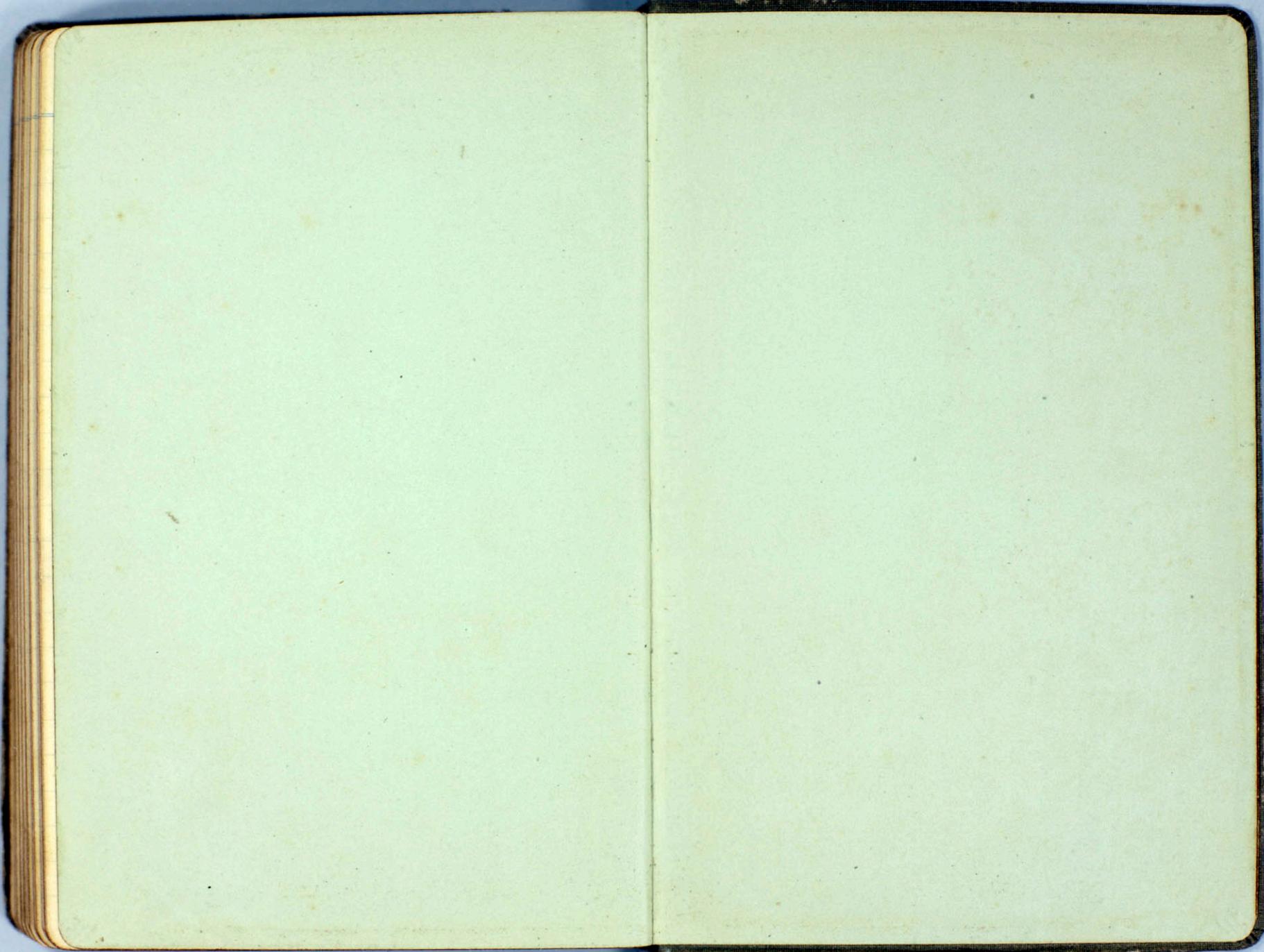
你欠了我多少(本利)归还吗

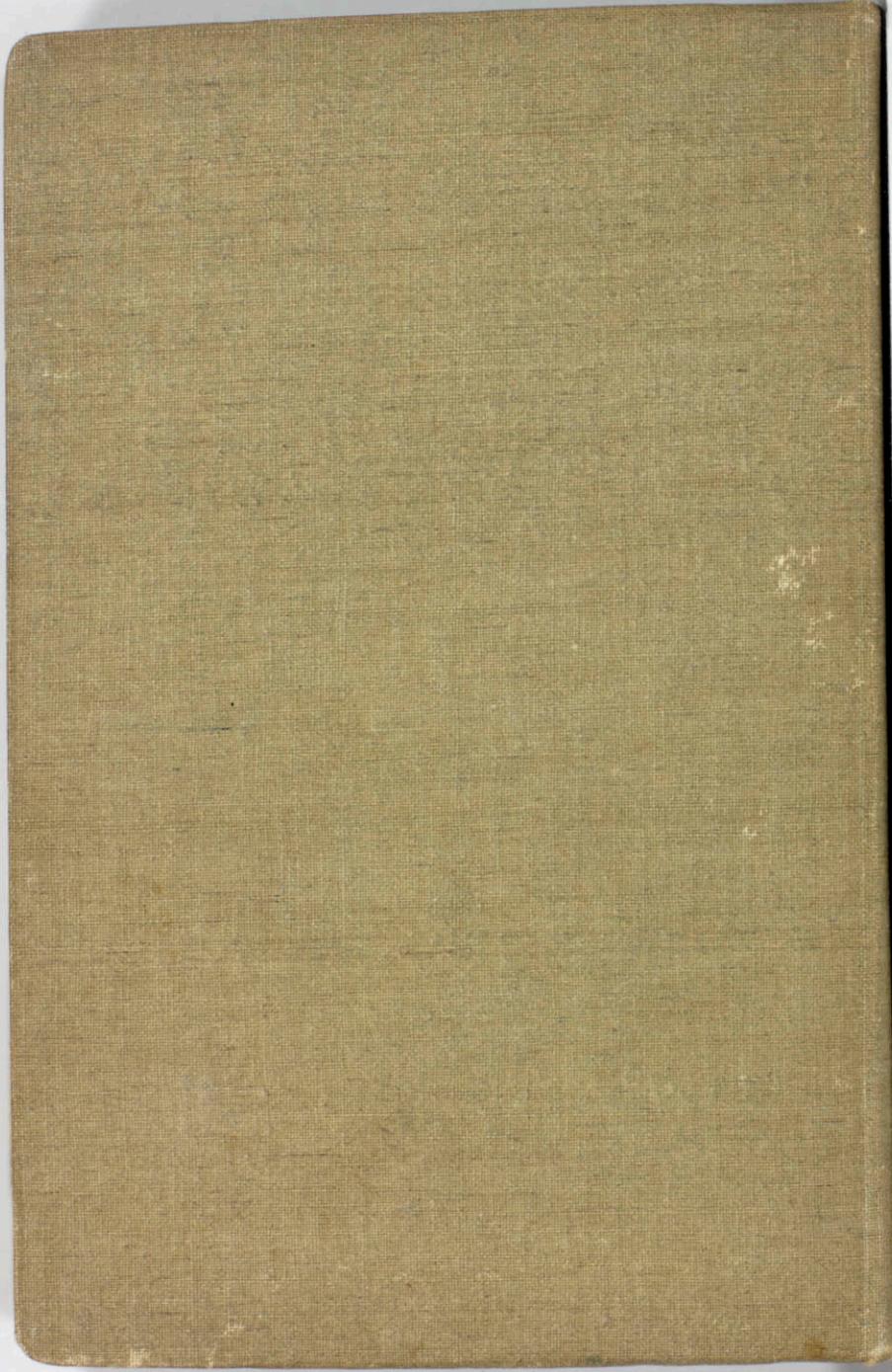
以古文为物，至是乃可以成之矣。

Prepared by
John C. Price

收,2023年







9/11/6

大

山

壽

産業調査協会大阪支部
電話本局四五五二番

兵庫縣武庫郡精道村打出谷田二三

6月
(A) 140.80
達(社) 4.50
14.46
支 4.50
2 76.27 高 2.50
野 20.00
8. 76.27 野 20.00
兵庫縣武庫郡魚崎町
9月 140.80
10月 140.80
11月 140.80
12月 140.80
岩三郎
12月 24.40

6*(50)

8.12 ab

8.5 小笠原 ab

9.20 大庭 ab

久野了良 LIO 母

Yui(妻)

新井田三郎 ^{and} 帝
前國 ^(前之元)

明治 + 24 東京學

明治 + 24 東京帝

明治 + 24 帝國學士院

明治 + 24 大學會

明治 + 24 大學會 教員

9/16

南洋興發株式會社

關西駐在處

徵

有

機

本社
東京事務所
大阪支店
大阪本店
大阪市中之島
大阪市武庫郡魚崎町下松原三二八
兵庫縣武庫郡内山下町東洋ビル内
東京市中央區下北沢一丁目
自宅
大阪本店
大阪市中之島朝日ビル五階
A 日 C クラブ
電話番号四五〇〇番内

9/11/5

前

谷

し
ん

電 話
佐 賀
二 九
子 雷 可

4/50 (v)

明早到

明早

明早到，明早，

明

明早到明早，

明早到明早，明早，

明

明早

60 (星，雨)

晴

明早到明早(晴) + 明早

明早到明早，明早

明早到明早

明早到明早

18/7.

山高一號

13000呎左右，100.3±1—
213

18/7.

21300呎左右

160 m mo 6 R 427

17/18.

30 3000 ft

Py. R. 5

65

1500 ft

PPS w/

1500 ft

1.80

2.60

IX/20.

木 + 桜吹葉 約 1
桜吹葉

13時左右到着 (現地入力)

入庫登録番号 8.25

1.80

2.60

1921.

30 大 3 号

37 号

233 号

184-8451

3 号

1921.

32

1, 25